

# 予算決算審査委員会報告書

令和5年12月19日

備前市議会議長 守 井 秀 龍 殿

委員長 森 本 洋 子

令和5年12月19日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

案 件	審査結果	少数意見
議案第108号 令和5年度備前市一般会計補正予算（第11号）	原案可決	あり
議案第122号 令和5年度備前市一般会計補正予算（第12号）	原案可決	—

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	3
議案第108号の審査（産業）	3
議案第122号の審査（産業）	37
議案第108号の審査（厚生文教）	38
議案第122号の審査（厚生文教）	42
議案第108号の審査（総務）	44
議案第122号の審査（総務）	54
議案第108号の採決	56
議案第122号の採決	57
閉会	58

## 予算決算審査委員会記録

招 集 日 時	令和5年12月19日（火）	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時30分	開会 ～	午後3時53分	閉会
場 所 ・ 形 態	委員会室	会期中（第5回定例会）の開催		
出 席 委 員	委員長	森本洋子	副委員長	草加忠弘
	委員	中西裕康		尾川直行
		立川 茂		西上徳一
		石原和人		山本 成
		青山孝樹		藪内 靖
		松本 仁		内田敏憲
		奥道光人		丸山昭則
欠 席 委 員		土器 豊		
遅 参 委 員		なし		
早 退 委 員		なし		
列 席 者 等	議長	守井秀龍		
説 明 員	市長公室長	濱山一泰	市長公室参与	梶藤 勲
	秘書課長 兼行財政改革課長	神田順平		
	総合政策部長	濱山一泰	企画課長	馬場敬士
	ふるさと納税課長	桑原淳司		
	総務部長	今脇典子	総務課長	青木克行
	財政課長	榮 研二		
	日本遺産・観光部長 兼文化事業推進室長 兼巡回企画課長	大岩伸喜		
	文化スポーツ部 長	森 優	スポーツ振興課長 兼地域移行課長	山本敏博
	文化振興課長	岡田真理		
	産業部長	淵本安志	産業振興課長	坂本 寛
	都市整備部長	河井健治	都市計画課長	井上哲夫
	建設課長	藤森勝一		
	保健福祉部長	大森賢二	保健課長	高橋多恵子
	福祉事務所長	浅野隆之	こども家庭課長	中野智子

	副教育長 兼国際教育推進部長	守屋孝治	教育振興部長 兼備前緑陽中学一校準備室長	石原史章
	教育振興部次長	春森弘晃	教育総務課長	竹林伊久磨
	幼児教育課長	文田栄美		
	社会教育部長	畑下昌代	社会教育課長	江見清人
	総括総合支所長	杉田和也	三石総合支所長	瀬尾茂樹
	吉永総合支所長	小川勝巳		
傍聴者	報道関係	あり		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

## 午前9時30分 開会

○森本委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は14名です。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会を開会します。

本日は議案第108号及び議案第122号の審査を行います。

15日の日に皆様にメールでお知らせしていますように、一番最初に産業関係、次に厚生文教関係をして、最後に総務関係をします。所管別分類表と座席表をお配りしておりますので、間違いないように質疑のほうよろしくお願いたします。

### \*\*\*\*\* 議案第108号の審査（産業） \*\*\*\*\*

それでは、議案第108号令和5年度備前市一般会計補正予算（第11号）について、産業部分の審査を行います。

○森本委員長 産業部分は、歳出から行いたいと思います。

それでは、議案書の14ページをお開きください。

範囲は、14ページ、2款総務費、1項総務管理費、6目、7目から20、21ページの商工費までを範囲といたします。

○中西委員 「第九」の演奏会の実行委員会というのはどのような実行委員会を立ち上げられるんですか。

○岡田文化振興課長 市民の方々とか行政と一緒にするように、まだ立ち上げまでとか人選もできてはいないんですが、そう考えております。

○中西委員 実行委員長はどなたがされるんでしょうか。

○岡田文化振興課長 現在のところ、杉浦副市長を予定いたしております。

○中西委員 合併の20周年記念で行うと細部説明では書いているんですけども、合併の20周年記念の行事というのは、一体全体この「第九」だけなんですか。それとも、ほかにも行事があるんですか。

○岡田文化振興課長 ほかにあるんじゃないかと思うんですが、把握できておりません。

○中西委員 合併20周年の行事というのはどういうものが企画されていて、その中の一つに「第九」があるというなら分かるんですけど、ほかに何があるか分からなくて「第九」だけやりますなんていうのは、そういうのはいかがなものかと思うんですが。

答えられないということは、まだほかに市長の頭の中にあるということなんですか。

○森文化スポーツ部長 私も全体を把握してなくて申し訳ないんですけど、うちの関係では「第九」をやろうというところで、今回補正予算を計上させていただいております。

○中西委員 ほかによく分からないということをお前提にして、何でこんなに「第九」を歌うのに金がかかるんですか。

○岡田文化振興課長 相場というのがないとは思いますが、オーケストラの方の演奏の中で

「第九」の第1楽章から第4楽章で合唱をするような格好にはなっております。

○中西委員 場所はどこでやるんですか。

○岡田文化振興課長 備前市市民センターを予定しております。

○中西委員 「第九」の演奏会というのは、そのオーケストラつきで1回歌うだけなんですか。毎日毎日歌うもんじゃないですか。盆踊りなんかでも1週間ぐらい歌うとか踊るとかというのがありますが、それはどのような企画になっているんでしょう。

○岡田文化振興課長 本番については、当日1回だけでございます。

○中西委員 その1回こっきり歌うのは、何日に歌うんですか。

○岡田文化振興課長 令和6年12月22日の日曜日を予定しております。

○松本委員 今、国民が、市民が高物価とかなんとかというときに、「喜びの歌」、「第九」だとか、別個の話かも分かりませんが、それと、この前、どっかの高校でしたかね、「第九」というのは市民とか全校生徒が寄って合唱を歌うとか、何かそういう市民参加の「第九」ならいいけど、どっかのオーケストラが来て、どっかの合唱団が混合してぱっと1時間か2時間ほど聞いて、750万円か、どうもこういう感覚というのが私は分かりません。そういう感想だけ述べときます。やめたほうがいいと思います。

○森文化スポーツ部長 この「第九」に関しましては、市民参加型で実施しようと思っております。広く市民、それから市内在勤の方などに声をかけさせていただきまして、約100名を募集定員として実施する予定でございます。実際合唱するのは県内唯一のプロの楽団であります岡フィルを考えております。あくまでも市民参加型、市民中心の「第九」を考えております。

○奥道委員 そもそもなぜ「第九」なのかなっていうのを一つ思ったんですが、いや、実は来年、実はベートーヴェンが「第九」を初演してちょうど200年、それから日本で初めて「第九」が演奏されて約百七、八年ですか、ちょうど第1次世界大戦の真っ最中だったんですね。それに合わせての20周年、ああ、すごい、ぴったりじゃなあ、時間的なというか、何か不思議な縁じゃなあと私が勝手にそう思ったんですが、そのあたりも関係していますか。いかがですか。そもそもなぜ「第九」なのかなというのを。

○岡田文化振興課長 そういったことは全く存じ上げておりませんでした。10周年のときにも実は「第九」の演奏会、合唱つきをしております。これが大盛況だったこともあり、今回20周年でも同じように市民とのつながりを強めるためにも開催したいと思っております。

○奥道委員 やっぱ不思議な時の一致ということもあるんで、その辺も皆さんにお知らせしたほうがいいのかなという気はしています。よろしくお願いします。

○石原委員 こちらに関する予算、今年度のところで企画費で18万円、それから債務負担で750万円出てきておまして、さっき言われた10年前、10周年のときにも「第九」演奏会を開催して盛況であったということなんですけれども、その金額も金額ですんで、その根拠と申しますか内訳のようなものがお示しいただければ、より判断に当たって幾らかでも考察が深まるか

なという思いでおったんですけれども、今日は書面のような形でも出てきていませんけれども、何か内訳のようなところで御説明いただければと思うんですけど、まず今年度分の18万円についてお聞かせいただければと思います。

**○岡田文化振興課長** 18万円につきましては、印刷代とそれから諸経費を計上させていただいております。

**○石原委員** 「第九」ですから、当然日本各地、今月ですね、いろんなところで「第九」って歌われて、皆さんで盛り上がり歌いましょうの曲目では一番メジャーな曲なのかなと思うんですけれども、さっきの岡フィルさんの話もあったんですが、僕が率直に受ける感想は、じゃあ皆さんと一緒に20周年をお祝いしましょう、一体となって祝意を盛り上げましょう、それは分かるんですけれども、岡フィルさんで確かにそれはすばらしい、専門的な、一流どころのハーモニーなんでしょうけれども、じゃあ市民の皆さんと一緒に祝いをといるところであれば、「第九」の岡フィルさんも一つの選択肢ではありましようが、じゃあどういう形で皆さんと一緒に、「第九」にとられることもないと思うんですよ。先月のたしか音楽祭のときに、市長がもう壇上で、舞台の上で来年皆さんと一緒に「第九」を歌う準備を進めてますみたいなことを大々的にもうおっしゃっていましたが、「第九」も一つかもしれん、岡フィルさんも一つかもしれん、だけれども、じゃあどういう形で20周年に向けて、例えば音楽のところに行くのであれば、どういう形、スタイルで進めていくかということも、いろんな選択肢があるんじゃないかな。岡フィルさんも確かにすばらしいでしょうけれども、じゃあ小学生、中学生、高校生も交えて、それぞれ吹奏楽部もあるわけで、そういうところから、技術的にはそりゃあ岡フィルさんには到底及ばんかもしれんですけど、皆さん一緒に20周年なんですよ、盛り上げていきましょう、ぜひ御協力を、皆さん一緒に楽しみましょうみたいなところで、一つずつ、少しずつ進んでいくのもひとつ、じわじわと市民の皆さんにも浸透して行って、そういう形の演奏会もあるんじゃないかなと思うんですけれども。

じゃあ債務負担も併せてお尋ねをといることだったんで、来年度分の750万円について御説明いただける何かものがございましたらお聞かせいただければと思うんですが。

**○岡田文化振興課長** 債務負担分につきましては、出演料でありますとか、オーケストラに係る費用といたしまして510万円、合唱の練習に係る費用といたしまして172万円、備前市市民センターのホールの合唱される方のステージを設営する費用といたしまして84万円、印刷代が44万円、諸経費が29万円、備前市市民センターの会場使用料が121万円となっております。

**○石原委員** ありがとうございます。やはりこれだけの出演料、一番大きなものでは必要になるのかなというのを改めて実感したところと、それから市民センターでされるのであれば、使用料が必要になるのかなという思いでおったり、まあまあこういう形で補正予算案が出てきますんでもう判断するしかないんですけれども、これまでの過程の中で、さっきしばらく前に申し上げ

ましたけれども、じゃあ「第九」でいきましょう、岡フィルさんをお願いをしましょう、どういう検討経緯でもってそこへ、そういう結論に至ったのか、それから検討過程でほかの音楽であったり、ほかの手法であったりというところはテーブルに乗せているんな手法も含めて、やり方も含めて検討がなされた結果、こういう形で出てきとんでしょうけども、検討経緯についてお聞かせいただければと思うんですけど。

**○岡田文化振興課長** 先ほども申し上げましたとおり、10周年のときにも「第九」の合唱をしていることと、それから岡山フィルハーモニック管弦楽団、その10周年の際にもこちらにオーケストラをお願いしております。先ほど部長が申し上げたように、岡山ではプロのオーケストラでもありますし、備前市と26年に包括連携協定を結んでいることなどから、こちらでお願いすることとしました。

**○尾川委員** 新規事業等の概要を見させていただいたら、市民の方や市にゆかりのある方の参加によりということを書いとんでですけど、具体的に方策についてどういう形で進めようとしとんかという考え方を教えてもらえたらと思うんですけど。

**○岡田文化振興課長** 合唱団員の募集なんですが、前回と同様に「広報びぜん」にチラシを折り込む予定としております。あと市民の方の参加をお願いするとともに、当然職員にも声かけをして、職員も参加し、それから市の音楽連盟の団体さんには個別に出演のお願いに上がらせていただこうと思っております。あと、市民、住所があるなしに関わらず、備前市にゆかりのある方々を広く募集させていただいて、皆さんと一緒に力を合わせて「第九」を成功させたいと思っております。

**○尾川委員** 前回10年前ですか、参加した覚えがあるんですけど、10年前の反省というか、問題点があったと思うんで、そのあたりを踏まえて今回の企画というのはどういうところを工夫されたんか。私らは一番が参加者だろうと、参加者の意識というか、どういうふうに誰が来るんかとかということについて、本当に100名という話があったんですけど、それが本当に達成できるのかなというのが、その辺前回のを踏まえてどういう工夫をされて今回やろうとしとんかというのを、分かれば教えてください。

**○岡田文化振興課長** 前回のことを参加された方からお聞きしますと、練習の場所ですとかいろいろ苦労されたということで、そういうことのないように皆さんが安心してではないんですが、練習に打ち込めるようにスケジュールを組んでいきたいと思っております。

**○尾川委員** それから、実行委員会を立ち上げると聞いて、実行委員長に副市長が就任されると聞いたんですけど、具体的に活動はどのようなふうこれから展開しようとしとるんですか。

**○岡田文化振興課長** 議決をされましたら、実行委員会を立ち上げて、今後の練習方針ですとか、そういった予算ですとか、そういったことを順次決めてまいりたいと思っております。

**○尾川委員** 費用面ですけど、これがみんな心配しようんがちょっと高いという感じを持つとるかと思うんですけど、前回と比較してそんなに上がってとんですか。前回どのくらいかかったかよ

う知らんのですけど、その後、そらあ諸物価値上がりしてやけくそ上がっとなじやけど、その辺もあると思うんですけど、そういう比較からしたらどんな規模で考えられとんですか。

○岡田文化振興課長 前回10年前と比べては確かに金額的には上がっているんですが、今回債務負担として出させていただいた金額なんですが、まだ決まり切った歳入しか計上しておりませんので、これから協賛金ですとか寄附とかそういったことも考えておりますし、おっしゃられたように物価も上がっていて、確かに全ての費用で下がっているところがないのではあります、そういった寄附を視野に入れていきたいと思っております。

○藪内委員 「第九」は何も文句を言うわけじゃないんですけど、ただ、先ほどから言われとる市民参加、市民が盛り上げていくと、市民全体で祝おうということからいいますと、プロと素人を一緒にするわけにはいきませんが、岡フィルとかでなく、そこから市民参加で考えるのもありじゃないかなとは思いますが。

○岡田文化振興課長 私の勉強不足なのだと思いますが、「第九」を演奏するに当たり、市民の方の演奏で果たしてできるのかどうかというのが把握できておりませんので、そこは考えておりませんでした。

○藪内委員 私も全然分からないので、できるかどうか分かりませんが、あと約1年かけて、完璧にプロのようにできなくとも、一生懸命練習等をして市民参加、市民が作り上げる、それでその20周年以降のまた30年、40年に向けて頑張られるというのはどうでしょうか、私の意見です。

○松本委員 僕は最初言いましたように、なぜこういうことをするのか疑問というのと、それから、こういうことを決めるのは、僕は執行部もそうなんだけど、議員の中で積極的に賛成意見とか、ぜひしてほしいとか、そういう意見を出してほしいと思うんです。そういう議員間でこういう問題を議論するのが大切じゃないかなと。執行部がこれをやりますとかというよりも、そこら辺を率直に聞きたいと思うんですけど、こういうことが議題になるかどうか分かりませんが、議員間でフリートークすりゃあいいと思うんです。

○森本委員長 そういう御意見がありました。

賛成の方で御意見がある方はどうぞ。

松本さんが反対を今表明されているんですね。どなたも反対とか言われてないんですけど、反対と明確に言われたのは松本委員だけなんですけど、賛成の方で。

○松本委員 私が言っているのは、これをいいと思う人の積極的な意見を述べてほしいと思うんです。

○奥道委員 先ほども私申し上げたとおり、ベートーヴェンが「第九」を初演から200周年、そして備前市の合併20周年と本当にそういう不思議な時の符合であるということが1点、さらには、このベートーヴェンの日本での初演から約108年、ちょうど1918年の第1次世界大戦、戦争のさなかですわ、この戦争のさなかに日本で最初にドイツの捕虜が徳島で演奏会をやっ

てると、まさに平和の象徴のような歌であると私は信じてます。だから、やることに大賛成です。よろしいですか。

**○丸山委員** 本当に記念式典、もう記念という部分、節目節目の10年のときにやったということは、自分の中でそこは知らなかったところはあるんですが、やはり何にしても節目のときに盛大にやるっていうことはいいんじゃないかなと。先ほど細かい金額のことは聞きましたけど、そういうところは必要なお金、先行投資みたいな感じになるかもしれませんが、本当に一般の方、いろんな学生の方にやってもらうのは、それもいいかもしれませんが、学生の方はまた、あっ、こういったプロのあれを見て聞いて、それから次のときにやってみようかなっていう思いを持ってくれればと思うんで、今回のはその式典、20周年というのは、「第九」をやるということは、もう大いに賛成で、ぜひとも毎年でもやってくれというわけにはいきませんが、節目という部分でやっていただきたいなと思います。賛成の部分で。

**○西上委員** 私もこの「第九」に関して、このベートーヴェンの最高傑作ということで、これは自由、平等、平和と友愛を求めて荘厳なドラマチックで歌い上げる圧巻の「歓喜の歌」だと私は思っております。今、世界各地で起こる紛争が絶えない今こそ、この「第九」が必要だと思います。

**○松本委員** 庶民感覚と違うんですよ。私はそのことを一番気にするんですよ。ベートーヴェンがどうだとか、「第九」がどうだとか、そんなことは分かり切ったことだと。それから、私もこれをオーケストラで聞いたことがありますよ、大阪のほうで。だけど、その場限りで、私の感覚がそうだったかも分かりませんが、何かこういうぱっと一瞬で終わってというよりも、さっきちょっと話に出ていたように、市民がもうやっぱり「第九」を歌おうという、そういうムードにして、いいオーケストラのどうのこうのというよりも、むしろやるんなら、そういうところを大切にしてほしいと思うんです。お金をかけて、ちょっと有名なかどうか知りませんが、オーケストラを呼んでぱっと聞いて、ああ、よかった、それで終わるんじゃないに。私はベートーヴェンとか「第九」についてどうのこうの、全然もう異議はありません。それなりに価値を見いだしておりますし、いい曲だと、それは問題ない。

**○西上委員** 2005年3月22日にこの備前市が合併して20周年を迎えるということで、歴史を振り返ってみれば、1955年、旧備前町と伊里町、香登町、和気郡鶴山村、そして邑久郡鶴山村が合併したということで、この1955年ということで、これも市制、誕生して70周年を迎えるわけですけども、それについて20周年の中にそういう歴史があるということで、こういうのも中に含めていただけないものなんでしょうか。

**○森文化スポーツ部長** 当然70周年に当たるということもそうなんですけども、一応新市になって20周年と、今の形になって20周年というところで記念行事ということでしたと考えております。

**○西上委員** 新市となってということで、過去があるから今があるわけで、過去のこの70周年

を非常に忘れてもらっちゃ困るということで、特に私ども東鶴山は、邑久郡からこの和気郡に来るということで、当時としては非常に一大決心したわけです。それをないがしろにはできないと私は思うので、この後に括弧書きでもええから、そういう文言をひとつ入れてもらっておればと思います。

○森本委員長 ちょっと逸脱しないでやってやってください。今議案はこれで出てきているので、検討してくださいぐらいで止めていただければと思います。

○西上委員 検討はいかがでしょうか。

○森文化スポーツ部長 考えたいと思います。

○石原委員 ベートーヴェンが200周年、来年ですか、それから平成の大合併で日本中の自治体がたしか同じようなタイミングで、恐らく同じように20周年を迎えられると思うんですよ。これはもう全国的にも200周年と20周年と恐らく、200周年はもう動きもせん年数ですけども、まさしくそれに合致する年が来年、2025年ですか、そのあたりで訪れると思うんですけども、「第九」なら「第九」でお祝い皆さんでしましよは、否定するものでもないんですけども、例えば進め方として、今課長いつぞやおっしゃいましたけれども、いや、市民の特に学校の子供たちの演奏能力がどれぐらいか分かりません的なところもあったんですけども、じゃあ18万円の実行委員会立ち上げのところは立ち上げて、20周年に演奏会を何かしましよ、立ち上げた中で、じゃあ何を選曲するのか、「第九」でいくのか、「第九」を選ぶんであればどういう形でいくのかというところも、その実行委員会なところで検討いただいて、じゃあ岡フィルでいしましよ、そういう形で経費をかけていしましよということで進むんであれば、ここで一気に債務負担がどっと出てきてじゃなくても、まず実行委員会のところで少し、あまり時間かけられんでしょうけれども、じゃあどういう形を皆さんと一緒に目指しますかというところから進んでいくべきじゃないのかな。「第九」ありき、岡フィルさんありきでいくと、ちょっとまた違うんじゃないかなというのは、もう今までの委員の皆さん方の意見であったり、執行部の説明を聞いた中で感じたところです。そこがちょっと残念かな、進み方が。まず実行委員会を立ち上げてからでもいいんじゃないのかなとは感じました。これはもう意見です。

○立川委員 先ほど明細で御説明があったんですが、部長のほうもおっしゃいましたが、岡フィルで510万円という金額を上げておられますが、見積書は取られましたか。

○岡田文化振興課長 はい、徴取しております。

○立川委員 そうしたら、全部岡フィルさんが面倒を見て、それだけという金額が出ておるんでしょうか。

○岡田文化振興課長 合唱のほうにつきましては、岡フィルさんの契約とは関係なく、実行委員会と直接契約をするような予定にしております。

○立川委員 見積り出ておるんでしたら、その内容についてお尋ねですが、編成はどのぐらいの編成になるんでしょう。棒振りさんは常任なんでしょうか、客演なんでしょうか。

○岡田文化振興課長 編成は47人ですが、指揮者についてはまだ決まっておられませんので、ここではお答えいたしかねます。

○立川委員 それってすげえ金額は張るんですよ。常任の棒振りが振られたらいいですけど、客演で振られるとワンステージ200万円ほどしますんで、今頑張っておられる佐渡さんなんか呼んだら300万円取られますよね。客演にするか常任にするかで、これ、二、三百万円違ってくると思うんですよ。今のお話で考えておりませんということじゃなくて、常任の棒振りにさせますという見積りじゃあないんですか。47の編成でやられるんですよ。

○岡田文化振興課長 今お示した金額でもう指揮者の金額も入っているということで御理解いただければと思います。

○立川委員 じゃあ、指揮者、棒振りさんのギャランティー込めて510万円でやれるということで組まれたんですね。合唱のほうはどうされるんですか。これも4パートあって、それぞれトップが要ると思うんですけど、市民の皆さんにトップをせえというのは大きな負担になると思うんですよ。私も出たことがありますけど、フロイデだけ言うとならええ人と、やっぱりトップを歌われる人とギャラが違うんじゃないかなと思うんですけど、今聞きますと合唱の172万円という数字を言われたんですが、これは市民の皆さんが来られる足代とか、練習、レッスンの会場代とか、そういう意味だと思うんですけど、これも客演呼ばれたら、大変申し訳ないんですけど、声楽のほうはあまり詳しくないんですけど、まあ50万円は下らないと思います、お一人。

○岡田文化振興課長 先ほどお示しました510万円の中には、指揮者、ソリスト、楽団員等も含んだ金額でございます。合唱練習費用につきましては、市民の方、合唱に参加していただける市民の方を募集して、その方のパートの練習でありますとか、そういったものの費用に充てることとしております。

○立川委員 じゃあ棒振りさん、常任が入っておられると。ソリストというのは、9番にソリストありましたっけ。

○岡田文化振興課長 ソリストは、第4楽章で合唱で歌うときのソリストのことでございます。

○立川委員 だから、合唱でソリストを頼まれるんでしょう、4人ほど。それも入っていますという解釈でよろしいんですね。

○岡田文化振興課長 そのとおりでございます。

○立川委員 だったら、その辺のことをひっくるめて御説明いただけると理解ができるんですけど。それでは、例えば岡フィルさんに全部依頼しとんじゃない。そういうことで部長言われたんだと思います。合唱のソリストも含めて510万円、これは動かないですね。大丈夫ですね。

○岡田文化振興課長 はい。債務負担行為のために見積りを取っておりますので、これ以上増えることはないと思っております。

○立川委員 そういった金額を出してプロを呼ばれるということで理解はします。市民のほうの、今おっしゃったように広報に出されたりというようなことのお話をされていましたが、こ

れ、100名例えば合同練習、パート練習いろいろあるとは思いますが、この練習場の確保もこのさっき言われた会場費121万円の中に含まれておる。

○岡田文化振興課長 含まれております。

○立川委員 レッスントレーナーの費用は入っていますか。

○岡田文化振興課長 入っております。

○立川委員 どこの費用に入っていますか。

○岡田文化振興課長 合唱練習費用の中に含まれております。

○立川委員 じゃあ、1人私が応募しました。練習に行きます。来年の12月まで行きますよ。これ、何回ぐらいの予定で、1回どのぐらいの費用をいただけるんでしょう。実費ぐらい出るんですか。

○岡田文化振興課長 練習につきましては、現在のところ24回程度を考えております。指導者につきましては、謝礼と交通費の実費負担を予定しております。

○森本委員長 参加者の部分を聞かれています。

○立川委員 市民が、私が参加しますということになって、24回来てください。そのうち20回しか行けませんと。1回幾らぐらい補助金といますか、手当といますか、旅費は考えておられるんですか。

○岡田文化振興課長 市民の方へは考えておりません。

○立川委員 市民の募集は100人程度という御予定にされていますね。この100人の方は手弁当で、どこまで行っても交通費も飯代も持ってくださいですね。さっき言ったソリストをひっくるめてその他は、契約に入っている人は旅費等出しますよ。指導者はどのぐらいを見ておられるんですか。何人ぐらい。

○岡田文化振興課長 総合的な人数については、何人とかというのがはっきり出てないんですけど、練習によりまして、パート練習であったら指導者4人とピアニストが4人とか、そういったことで検討しております。

○立川委員 多分それでは無理だと思いますので、普通やっておられて。その辺の計画をもっとしっかり立てていただけてこの予算を立てていただいたらよかったなと思います。成功してもらいにこしたことはないんですけど、予算の立て方が乱暴かなという気がしましたので。おっしゃいました来年12月22日、ワンステージやりますということで確認を取らせていただいているんですが、これは市民の皆さんは入場料取られるんですか、取られないんですか。

○岡田文化振興課長 そのあたりはまだ検討しておりませんので、実行委員会を立ち上げたときに検討していきたいと思いますが、参考までに申し上げますと、10年前には入場料をいただいております。

○立川委員 幾らでしたっけ、10年前は。

○岡田文化振興課長 2,000円いただいております。

○立川委員 そういうこともしっかりとお考えいただいて、出るところだけじゃなくて入ってくるほう、寄附をもらうというようなところもされとったんですが、これはCFでもされてゆっくり考えてしっかり練っていただけたらと思うんですが、クラウドファンディング等々御利用する予定はありませんか。ふるさと納税企業版でも結構ですけど。ぜひ歳入もしていただきたいと思うんですけど。

○岡田文化振興課長 今、具体的なことは考えておりませんが、委員おっしゃられたように、クラウドファンディングも考えていきたいと思っております。

○中西委員 12月22日に行われるとお伺いをしたんですが、私は合併した日にどうして行わないのかなど。合併した日に行うのであれば、債務負担行為も納得できるわけですけども、12月22日でどうして債務負担行為がこんなにたくさん出てくるのか。例えばオーケストラの510万円ですけど、これは前もってお支払いをしないといけないものなんですか。

○岡田文化振興課長 前もってお支払いするわけではないんですが、契約でありますとか、それから打合せ等をするに当たり、実際に動かなければならないので、ここで債務負担行為を組ませていただいています。

それから、合併の日に「第九」をしないのかというお話なんですが、10年前にちょうど式典の後に演奏会をしたんだと思うんですけど、そのあたり、会場等がばたついたりしたようなこともいろいろ記されておりましたので、12月に予定をさせていただいております。

○中西委員 ベートーヴェンの生誕に合わせるというのは、それはそれで後づけでも別に構いませんけども、これは備前市の合併の式典ということになると、合併の日に合わせるのが普通じゃないんですかね。何で12月22日なんかになるんですかね。

○岡田文化振興課長 「第九」は一応年末に多く開催されるというところもあり、そのような日程で組ませていただこうとしております。

○中西委員 やはり債務負担行為を行う理由が私は理解ができません。新規事業の説明を読むと、1月から実行委員会が立ち上がると。しかし、2月から例えば合唱の練習がもう始まるということにはなかなかならんと思うんですね。実行委員会を開いて、それから呼びかけをしてということになってくると、ここで出てくるような債務負担の750万円が3月までに動くというようなことは考えられないんじゃないでしょうか。

○岡田文化振興課長 実際にお金が750万円も動くのではないんですが、一つの事業として提出させていただいておりますので、ここで債務負担として上げさせていただいております。

○中西委員 やはり、これは当初予算に上げるべき予算の性格ではないかなと思います。

部長はどう思われます。

○森文化スポーツ部長 この債務負担につきましては、もう議決をいただければ「第九」の実行の日に向けてすぐにでも契約いたしまして、日程調整等入っていかないと時間的にも厳しいようなこともありまして、ここで債務負担行為を上げさせていただいております。お金自体は、課長

が言うたように動かないんですけれども、これの実施に向けて準備を含めて今年度内から手がけていきたいというところでございます。

○中西委員 5月にやるんだったら私は債務負担行為もあるかなと。しかし、12月22日の中でやるということになれば、この予算がついてなくなると契約はできるわけですから、私は十分対応できるんじゃないかと思えます。

それと、先ほど来石原委員もおっしゃってられましたけども、もうこれだけのことをもう既に決めてしまうと、実行委員会なんてもう必要なくなってくるんじゃないですか。もう実行委員会は、もうそれでやるしかないというものになってきて、本来の実行委員会が考えてやる部分がほとんどなくなってしまいます。実行委員会の役割が何なのかということさえ疑われるような企画じゃないですか。もうこれはよろしいです。私の意見です。

○森本委員長 関連でないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

暫時休憩します。

午前10時25分 休憩

午前10時40分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

○尾川委員 商工というか産業に言うてもおえんのんかもしれんけど、20周年の行事の取りまとめというのは誰が取り仕切っていくょうんかというのを、それは分散して担当、担当というのは分かるんじゃけど、全体像をある程度、そりゃあわしはいつも思うんじゃけど、備前市ぐらいじゃたらなかなか後追いで、全体像も、ああ、これもしたほうがええなあというてちよろちよろ出てきて全体像をつくっていくというのはよう分かるんじゃけど、その辺をある程度示しながら、その中の「第九」じゃとかなんとかじゃとかと、全体像、分散していくのはあんたらの執行部の手ではあるんじゃけどな、手ではあるんじゃけど、市民にこういう企画をして合併20年を祝いたいと、それでここに書いてるように、きちっとこれから備前市を発展さきにゃあいけんという節目にしようという願いをもうちょっと明確にして、何と何と何を予定しとると、基本になるベースを、それからあと枝葉はまた追加で、こんなこともやったほうがええんじゃねえかというのが出てくるかも分からん、それを明確に示してもらいたいと思うんじゃ。小出しにして、「第九」です、何です、かんです、野球ですというてな、それも方法かもしれんけど、オリックスを応援に行くというのもあるんかもしれんけどな、それじゃあなしに全体像を示してほしいな、難しいけど。それをよう言うてえてえ、誰が取り仕切りょうんか、総務のほうがしょうんか誰か知らんけどな。それを明確にしてほしいんじゃけど。

○森文化スポーツ部長 委員おっしゃられるように、取り仕切っているというか、中心部署と調整して、その全体像について明確にしてもらいたいと思います。

○尾川委員 そういう意見があったというてよう言うてえてえ。野球もするんじゃろうし。

○中西委員 最初にその全体像の話聞いたときに、ほかは分からないとおっしゃったんだけど、分かる責任者はどこになるんですか。この予算委員会なんか3つぐらいに分かれてやるんで、どこで私は言うてええんか分からんのですけど。

○森文化スポーツ部長 企画課なので、総合政策部かと思います。

○中西委員 部長同士で相談しなければ分からんようところで決まっているのかな。

○森本委員長 代表して総務のときにお聞きしてもらおうようにいたしましょう。

○中西委員 はい。

○森本委員長 それでお願いいたします。

もうこの件はよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そうしたら、範囲の中でほかのところの箇所ですら疑問のある方はどうぞ。

○尾川委員 巡回展の資料を総務産業でもらうた総額を出して、4億5,000万円ほどじゃったんで、これ、ちょっと違うんじゃないか、説明してもらおうと思う。

○森本委員長 本日提出されている資料の説明をお願いいたします。

○大岩巡回企画課長 こちらのほうは、商工費の観光費の中の19節の負担金補助及び交付金というところの1,300万円の内訳と、その補助金が令和6年度の債務負担になつてきますので、そちらの4,000万円の内訳でございます。あと事務費が残りの1,944万1,000円ありますが、これは1,300万円をのけた644万1,000円が、報償費であるとか旅費であるとか需用費といった事務費等になっております。

○尾川委員 今の説明で、前に12月14日にもらうた資料とは違うということで、金額が違うんじゃないから中身が違うと思うんじゃないけどな、そういう理解をしたらええわけ。

○大岩巡回企画課長 せんだっての委員会でお示した巡回企画展の1,944万1,000円は、1,300万円と、今さっき申し上げました事務費の分を足した数字でございます。

資料のほうは、令和5年度と令和6年度に分けさせていただいております。令和5年度が、先ほど申しました1,944万1,000円のうちの補助金の1,300万円相当でございます。令和6年度は、債務負担の4,000万円でございます。主には、7会場を予定しております。7会場は、フランスのストラスブール、ヴァロリス、あとパリ、それからベルギーのブリュッセル、スイスのバーゼル、あとモナコ公国、あとこっちのニューヨークを7会場として予算のほう組ませていただいております。

まず会場借り上げ費として計上させていただいております7か所分です。それから、広告費用ということで、なるべくミラノでしたものを使うことといたしまして、その分をなるべく使うようにして経費を抑えております。広告費用ということで、7会場分と一式ということで上げさせていただいております。

あとブース、デザイン、当然会場のデザインであるとか設計ということで、7会場とデザイン

費、設計業務、什器類レンタルということで、一式上げさせていただいております。

それから、会場運営に係る経費ということで、会場のスタッフ、人件費、通訳、あと運営管理費ということと、あとパンフレットの作成ということで計上させていただいております。

あと物流に関する費用ということで、作品の輸送ということで一式上げさせていただいております。

それから、職員の現地渡航に係る費用ということで、7会場分ということで上げさせていただいております。

あと、事前の調査渡航ということで、欧州とニューヨークのほう1回ずつ計上させていただいております。

あと、業務運営管理費ということで、業務委託するところに企画料として1月から3か月分と残りの12か月分を足して15か月分を計上させていただいております。

○尾川委員 要は、新規事業等の概要の1,300万円と4,000万円の明細がこれへ出るとということで理解すりゃあええんじゃな。

○大岩巡回企画課長 補助金の内訳でございます。

○尾川委員 文言のごじゃごじゃ言うんじゃねえんじゃけど、ニューヨークほかというてなつとるが、まだようけやるんかなと思うて、それを聞いたかつてな、7か所というて限定したって、その状況に変化があるんじゃろうけど、そのほかをどんなんかなと思つて気になつてな。

○大岩巡回企画課長 会場の場所はある程度決めてはいるんですけど、会場の美術館であるとかギャラリーであるとか、そういったところを考えたときに、会場が安く押さえられればあと数か所できる場合もありますので、そういったところでほかということとさせていただいております。

○尾川委員 この委託料が50万円というて、委託業者、これは人件費だけじゃろうけど、委託料というのはどうなつとるん。どこへ委託する予定を考えて、もう決めとんじゃろうと思うんじゃけど、揚げ足取るんじゃねえんじゃけど、どのくらいのマージン、そう言うたらあれじゃけど、委託業者というのはあれかなという。

○大岩巡回企画課長 委託といいますか、このたび10月に北前船フォーラムのときにアルザス・欧州日本学研究所、CEEJAと連携協定を結びまして、そちらのほうは欧州もニューヨークもある程度出展とか経験がありますので、そこをお願いするようには考えております。

○尾川委員 そしたら、えろう専門家がおられたら丸投げというて言葉は悪いけえ、また丸投げというのになるわけ。

○大岩巡回企画課長 丸投げではなくて、当然持っていく作品であるとか、そういったことはこちらで選びまして、向こうのほうで管理運営していただくとは考えております。

○尾川委員 それで、要するに期待するところというか、これだけ金かけていて、どういう成果を狙いにしとる、それは書いとんかな、よう見てねえんじゃけど。そりゃあいろいろ事業目的にゃある書いとるけど、数字的に見てもどういふふうな、例えば売上げがどうじゃとか、どうい

う備前焼の業者というか、いろいろ今までの話があったけど、どういう人を対象にしてどうなって、どのくらい売上げ、もうけは別として、売上げ、振興に、それで今後のことについてどういう計画を立てられるのかな。この事業目的をしっかりと読めえ言われるけど、その辺を確認方々教えてもらうたら。

**○大岩巡回企画課長** 出展につきましては、このたびのこの予算がもし通過させていただければ、出展を希望される作家、窯元さんに御案内をいたしまして、出展希望をお聞きします。まずお聞きしまして、もう一度どういった、今回の巡回展は一応美術的なものと考えておりますので、そういった美術、一点物を集めさせていただこうかなと考えております。

その海外の、こちらは美術的価値の向上を目指すというのと、あと一点、地域商社で販路拡大ということをやっておりますので、こちらの巡回展は、基本的には備前焼の美術的価値を高めるということで、今のところこちらの巡回展では販売は考えておりません。

**○尾川委員** 欧州のほうは備前焼について関心があると、販路は大丈夫じゃという話を聞いたように、わしが勝手に解釈しようんかもしれんけど、その辺はある程度、国というたら悪いけど、ああいう個人の誰々さんじゃったか忘れたんじゃけど、その人らが、責任というたら言葉が悪いけど、ある程度アドバイスとか協力やこう得られるわけ。どの程度してもらえん。

**○大岩巡回企画課長** 国のほうといたしましては、欧州連合、EUの日本政府代表部で伝統工芸品については欧州の販路というんですか、知名度アップということで、日本食であるとかお酒であるとか、そういった日本食マークと、今度、器ということで、それでお力添えをいただくということで、このたび欧州から伝統工芸をもっと補助金を追加ということで、このたびの答弁でも、そういったことでは市長が答えておられましたんで、お力添えは今でもいただいております。

**○尾川委員** 担当者はへえで替わつとりゃへんのん、あれはすぐ替わるんじゃけど。あんなの言うたら悪いけど。おるんかな、へえで。

**○大岩巡回企画課長** EU大使は替わられております。

**○尾川委員** いや、何とかというて講演しようったが、この間岡山で。北前船出て、欧州まだ日本にそういう備前焼に興味があるように聞こえたんじゃ、わし。だから、頑張ってやってもらえんと。じゃから、それでこれへ金使ようんじゃと思うんじゃけえな。

**○大岩巡回企画課長** その方は、1年目なんでまだ替わられておりません。

**○尾川委員** こんなことを会議で言うたんじゃけえ、どの程度期待できるん、あの人は。力はあるんか。

**○大岩巡回企画課長** その点は私のほうからお答えできません。

**○立川委員** 金額のお話が出たんですが、20、21で観光費の中で、さっきおっしゃった委託料600万円、企画調査委託料、これも全てこの関係の事業かなと思うんですが、これがさっき尾川さん言われたように、この計画に入っていないんですけど、この分はどういったところへ行っ

て、どういったことをされる企画費なんですか。

○大岩巡回企画課長 こちらのほうは、職員2名と、一応コーディネートということで2名の事前の現地調査派遣業務ということで、5泊7日で予算計上させていただいております。

○立川委員 じゃあ、この一覧表の中の事前調査渡航に係る費用の中には入っていないんですか。

○大岩巡回企画課長 こちらは入っておりません。

○立川委員 何でそんなに小出しされるんですか。名目は一緒じゃないですか。事前調査渡航に係る費用なんですよ。ここに計上している600万円は。さっきおっしゃった2名分行かれる金額ですよ。何でこの一覧表に出てこんようになったん。

○大岩巡回企画課長 事業実施主体の補助金で考えておりますので、その補助の主体業者の職員ということと、あと委託業者もその補助の主体業者のほうでやっていただくということで、こちらの職員とは別の考えでございます。

○立川委員 さすが行政ですね。おかしいですよ。この前総務産業委員会が出された資料があったじゃないですか。備前焼振興について、巡回企画課、欧州、米国で備前焼巡回展の実施準備1,944万1,000円、令和5年11月補正で執行しますよと。それで、今日こっち、新規事業の概要では5,300万円、当初言われたように、どうなの、これって。先ほどおっしゃった理由はわかりますけど、じゃあこんだけかかりますよ、いやいや、こちらではこんだけの金額ですよ。分かりにくくないですか。僕ら分からへん。あんたら何考えとんねんというぐらいしか出てこうへんのですけど、その辺何でそうなるのか、今おっしゃったように、もっと分かりやすく御説明いただけたらと思いますが。

○大岩巡回企画課長 こちらの委託料ですが、もし予算を通していただいたならば、1月から3月の間に実際に市長を含め、EUのベルギーであるとかフランスのストラスブール、あとミラノはミラノサローネで別の家具展があるんですけど、そちらのほうに事前にお伺いして、そういった催物について現地の方と打合せをしてくるということの委託料でございます。

それから、補助金の内訳につきましては、事前ということであるんですけど、その補助金の実施主体の方が行かれるということで予算計上をさせていただいております。

○立川委員 巡回企画課というのはいつできたんでしょうかね。

○大岩巡回企画課長 10月1日でございます。

○立川委員 その事業年度、令和5年度、事業名、備前焼海外巡回展示展、これへおっしゃるとおり1,944万1,000円上げているんですよ。さっき課長が御説明いただいたように、これ、補助金ですねん、これは費用ですねんって書いとりやしまへんで。これに係る費用は1,944万1,000円ですよ、その債務負担行為が4,000万円ですよ。これ、6,000万円という僕解釈しました、この一覧表を見て。新規事業の内訳を見たら5,300万円。これって、何かほかにもあるのかなという疑念を抱くんですよ。また、どっかにその関連の費用があるのかなと思わせるような書き方は御勘弁いただきたいんですけど、その辺はどうですか。

○大岩巡回企画課長 ほかにはございません。これだけです。

○立川委員 じゃあ、この事業に係る総費用は、債務負担入れて6,944万1,000円という解釈をしいいんですね、巡回展の事業としたら。

○大岩巡回企画課長 巡回企画課の持つ部分と補助主体の事業者が持つ分で1,944万1,000円でございます。マックスが1,944万1,000円でございます。

○立川委員 だから、6,000万円見当が、債務負担入れてですけど、この事業に係る費用ですという解釈をしいいんですね。

○大岩巡回企画課長 そのとおりでございます。

○立川委員 ありがとうございます。職員の派遣というお話が先ほども出ました。今回、企画調査では2名行かれる。こちらでも1名、1名。これは、同じ職員が行かれるんですか。

○大岩巡回企画課長 まだ決まっておりません。

○立川委員 たしか秋田県の大館市と共同というお話の巡回展と理解しとんですが。

○大岩巡回企画課長 こちらのほうは市の単独事業で、大館市との共同はイタリアのミラノサローネのミラノ大学で行うほうの事業でございます。

○立川委員 今回は市の単独事業ということですね。さっきおっしゃった展示即売会は一切行わないということの認識でよろしかったですね。

○大岩巡回企画課長 この巡回展では、美術的価値を上げるということで進めますけども、あと地域商社で瀬戸内市さんと一緒にしている事業があるんですけども、そちらのほうで海外の販路拡大というんですか、そういったもの今、例えばジャパンエキスポであるとか、MADE IN JAPAN IN MONACOに出展であるとか、そういったところでしておりますので、そういったものも含めて、地域商社のほうで海外の販売については行っていかうとは考えております。

○立川委員 今おっしゃったように美術的価値を高めるための企画展ですか、それと並行して、売上げのほうを行かれる地域商社も販売を同時にされるということですか。

○大岩巡回企画課長 会場の場所がまだ決まっておりませんので、巡回展のほうは、国庫補助金を目指しておりますので、その補助金は文化庁の補助金であるんですけど、こちらのほうは販売しては駄目というような規定がございまして、それを補助採択していただきたいんで、この巡回展については美術的なものということで進めさせていただく所存でございます。

○立川委員 それは理解しとんですけど、片一方の商社で並行して販売もされるんですかと。

○大岩巡回企画課長 場所の状況にもよります。場所の、今連携協定結びましたCEEJAさんのほうで、場所の選定もこういったところということで調整してますんで、そういった場所で、もし出展が可能であれば、そこでは販売ができたらとは考えております。

○立川委員 同時にやられるということでしょう。美術的展示に、これは文化庁の補助金の関係もあるから展示だけで美術的価値を高めますよ。こっち側を振り向いたら売りませという話を進

めているということの解釈でええわけでしょう。

**○大岩巡回企画課長** 今先ほど申し上げたように、文化庁の補助金の場合は、その規定に売ってはいけないというのがあるんで、ある程度場所も、隣で出展がといたときに、補助が難しいと思うんで、その辺は考えながらしたいなどは考えております。

**○立川委員** だから、こっちでは美術的価値を高めますよというて展示するわけでしょ。それで、ちょっとこっちを振り向いたら、こっちは売りませという話でしょ。そう理解してええわけでしょ。

**○大岩巡回企画課長** 同時の同じ会場の隣ということはどんなのかなとは考えております。

**○立川委員** もうやめます。同一会場で、こっちは展示です、こっちは販売ですとはしないでしょ、普通は。だから、ちょろっと横向いてこっちで売ってませという話じゃないかなと理解はしておきます。そうなってくると、販社も、商社もそうですが、市の公金を使つての事業になりますよね。ただ、販売したお金は市に歳入として入るんですか、入らへん。業者に入るんですか。

**○大岩巡回企画課長** 地域商社で、例えばジャパンエキスポであるとか、MADE IN JAPAN IN MONACOは瀬戸内市さんと同じ事業で、瀬戸内市さんのほうも刀であるとか虫明焼を同時に出品しておりますので、こちらのほうは、今、そちらのほうも海外でいろいろお助けいただいている方がおるんですけども、そちらが作品を今は買い上げていただいて、そちらで売っていただくということで今進めております。ですから、市のほうは、その地域商社の中の負担金補助ということで、その地域商社のほうで瀬戸内市さんと組んでいる実行委員会というのがあるんですけど、そちらに負担金を出して、そちらのほうで事業を実施していただいております。だから、市が出す支出につきましては、その負担金補助のところを出して瀬戸内市さんと一緒に事業をしております。

**○立川委員** 普通、商業活動では、それは販促というんですね、販売促進という捉え方をします。売上げは、例えば備前焼作家、備前市には300から400というお話もございますけど、そのことのためにそういった販促費を出すわけですよね。その辺、会計明瞭にしといていただきたいと、お願いだけしときます。

**○尾川委員** この企画というか、備前焼振興というか、この表で令和4年度から本格的に取り組んだるように理解しとんじやけど、その点と、それから、これは5年度、6年度継続してやろうとしとんですけど、今後のことについて今から撤退というか、どの程度でどういうふうにするか、そういうのを何かある程度、幕引きというのは考えとるわけ。その辺ちょっと、今からそういうことを言ようたら、行け、進んで行きようならんだらどねえもならんと言うかもしれないけど……。

要するに、どのあたりで見極めをするんですかということをおちょっと難しい質問じやけど、答えられんかしらんけど、どういう計画を立ていきようかというのを……。

**○大岩巡回企画課長** 今、第3次総合計画の中で、まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で、当

然目標数値を上げております。その中で、私どもが上げているのが4つありまして、市内観光の入客数、あとSNSの閲覧数、あと観光ボランティアガイドの利用者数、あと訪日外国人の旅行者数ということで目標設定しております。そういったところをこういった事業をしたときにどのくらいそれが上がっているのかということで、巡回展につきましては、こちらのほうも来年度やりまして、その様子を見ながら後のことは考えたいとは思っています。

**○西上委員** せっかくいただいたこの資料で、広告費用という部分でお聞きしたいんですけども、興味を持って巡回展に来てもらうために、この辺の具体的にどのようなプロモーションを考えられておるのか、もう少し詳しく教えてください。

**○大岩巡回企画課長** 今考えているのが、イタリアのミラノで出展していた作品も含めて巡回展に持ち込もうとしております。そういった中で、ミラノで喜多先生がデザインしてくださっているんですけど、そういった展示の仕方がある程度使わせていただきまして、図録であるとか、あとショーケースであるとか、そういったものを使って巡回展に行きたいと考えておりますので、あとその図録も含めまして、例えば作家さんのホームページとかに当然飛んでいくような形でも考えておりますし、あとパンフレットといったものも、英語、フランス語、イタリア語、3種類ぐらいを考えながら宣伝できればなと考えています。あと当然ホームページ等も作成しながら宣伝はしたいと考えております。

**○西上委員** 特に年齢層についてはどういう方々の年齢層をターゲットに絞っておられるのか、顧客の、その辺はどうなんですか。

**○大岩巡回企画課長** 美術品ということで、ジャパンエキスポとかの出展の購買層を見ますと、大体日用雑貨的なものが、出展自体も日曜雑貨的なものが多かったんですけど、モナコとかは若干というんですか、高価なものを入れておりますので、美術、備前焼のわび寂が分かるような世代というたら申し上げにくいんですけど、備前、日本のそういったものに興味のある方をターゲットにはしたいと考えております。

**○西上委員** 今デジタル時代だからこそ、逆にアナログ的な、今やパンフレット、チラシ的なことも部長言われましたけれども、外国でダイレクトメールを出すというのはちょっとどうなのかなと思いますけど、年齢が高い人なんかにはそういうこともマストなのかなと思うんですけども、いかがですか。

**○大岩巡回企画課長** そのあたりは経験がありますCEEJAさんとも相談しながら、宣伝を考えていきたいと思えます。

**○西上委員** 会場運営に関わるへんで、この説明に当たられるこのパーソナルセリングの方々はどういうような方々なのでしょう、このスタッフというか。製品を説明する方々。これは、作家さんなんか、現地のスタッフなんか、学芸員なんか、その辺のことも部長お願いいたします。

**○大岩巡回企画課長** 現地スタッフということで考えております。CEEJAさんが現地で雇っていただくというたらあれなんですけど、そういったスタッフの方を考えております。

○西上委員 それは、備前焼に精通した方なんですか。

○大岩巡回企画課長 当然その3番目のように、リクルートに関わる費用ということがあるので、こちらのほうで運営スタッフを現地で募集ということで、面接しながら備前焼の知識を育成していただくということで考えております。

○西上委員 そうやって商品説明をしていくと、お客さんは欲しいと思う方もおられるんですね、商品を。先ほどの話ではないんですけど、その欲しいと思った瞬間を逃さないためにも、オンラインでの販売なんかがええと思うんですけど、オンラインの販売もされておると思うんですけども、その辺のことについて、オンラインの販売をしていけばニーズの調査もでき、一石二鳥かなと思うんですけども、その辺のことをいま一度詳しく御説明いただきたいと思うんですけど。

○大岩巡回企画課長 今考えておりますのが、図録を作るのかどうかというのも含めまして、出展された作家さんがホームページ持たれていたら、そちらのほうに飛んでいくような感じで、QRコードになるか分かりませんが、そういったことをパンフレットとかに入れたいとは考えております。

○西上委員 ありがとうございます。ちょっと戻るんですけど、美術館というブランド力は人気が高い。ブランド力ということは、集客力があるからレンタル費用も高いというようなことにつながっていきます。どうしてもこういう巡回展は集客が非常に大切だと思っておるんですけども、この集客部分の見込みというのは、部長、どのくらい立てておられるのでしょうか。

○大岩巡回企画課長 10日前後のをしたときに、宣伝にもよるんでしょうけど、あとCEEJAさんが今までに出展とか、そういった美術館での運営を手がけた十分な知識がございますので、1日何人というめどのほうは私ども今分からないんですけども、たくさんの方に来ていただくような手法は取らせていただきたいとは考えています。1日何人とは今のところ目標の人数は設定しておりません。

○西上委員 大河ドラマ「どうする家康」は全国で巡回展をさせて、番組のPRをさせていたということで、ある有名な経営コンサルティングの会社の社長が言っている言葉で、成功するか否かは前準備が9割で決まるということで、大岩部長、ぜひ前準備をしっかりして頑張ってくださいと思います。よろしくお願いします。

○尾川委員 話が、今戦略みたいなん触れたりしようったんですけど、アドバイザーに委託して、ある程度お任せみたいなんですけど、歴史的に見たら、伊万里焼とか有田焼とかが海外で高級品というか、美術品を売ってきたと思うんです。今でもどんなんか知らんけど。その辺のそういう戦略というのは、ちいたあ、お任せでアドバイザーというか、委託者が適当にやっとなんで、市としてのそういう専門的に伊万里とか有田とか、ほかにあるんか、朝日新聞にも最近触れたり、高級品でいくんか、それとも日用品でいくんかということも触れとるところがあるんじゃないけど、そのあたりについて誰か考えようるわけ。大岩部長が優秀なから考えるんじゃない

やけど、その辺はどういう戦略を立っと思われるのかなと思うて、教えてもらえたら。

**○大岩巡回企画課長** 有田焼とかといいますと、私どもの備前焼というのは、釉薬を使わずに焼締めているということで、他の作品とは、派手さはないんですけども、わび寂ということで、分かっていた方には分かっていたけども、ある程度、ほかの作品とは区別ができると考えておりますので、当然、日曜雑貨品を売り込んでもあまり、メリットがないと言うたら悪いんですけど、3,000円、5,000円の物を売ってもあまり、向こうの税金であるとか輸送料で取られるということがありますので、できれば高価なもの、美術的価値のあるものを買っていただきたいというのは考えております。

**○尾川委員** 備前焼がこれまでこれだけ海外に打って出るというのは、歴史的に見てもあまり類がねんじゃねえかなと。だから、先陣としたら、伊万里とか有田とか、ああいうところは結構前から売って、逆に返ってきたりして国宝になったりするようなものがあるんじゃないけど、そういう、今回本当にこれだけ金かけるのは別にして、アタックしてとかアプローチかけていくということは、前代未聞じゃねえかなと思う。じゃから、相当こっちも期待はしとんじゃけど、本当にどうじゃろかなというのが、一番みんな思うとんじゃねえかなと。勝算とか、どう担当部長は考えられて推進さしようかなと思うて、それをよう確認させてもらえたらと。備前焼も、今までにもフランスにアプローチかけて、今まで以上に、今よりももっと力入れてやったことあるよというケースがあるんだしたら、その辺も教えてもらえたらと思う。わしは、これ、本当備前焼が1,000年の昔からあって、海外へ打って出るというのは初めてじゃねえかなと思うとんじゃ。その辺の認識について話をしてもらうて、どうかということも教えてもらえたらと思う。

**○大岩巡回企画課長** これだけ市として海外に打って出るということで、委員御指摘のとおり、その費用対効果の面が一番だと思うんですけど、過去には作家さんで、個人では個展であるとかを市でしていったんですけど、やはりかなりの費用がかかるということで、なかなか続かないというようなことがありますんで、今このように市として伝統工芸である備前焼を守ろうということで、国のお力添えもいただきながら今やっているところで、今は備前焼の後継者不足であるとか問題がありますんで、今後市としても何らかの手助けをして備前焼を守っていかないといけないというところで今しているところです。ただ、費用につきましては、できるだけ私ども抑えるようには考えておりますので、その辺は御理解いただきたいと考えております。

**○尾川委員** 要するに違うよ、備前焼と伊万里、釉薬を使わんと、そういうのはあるけど、先人として伊万里とか唐津とか有田とか、有田やこう人間国宝がおって、あの人、何とか柿右衛門さんは結構売ろうと思う。そういうのを参考にして、何か備前焼の海外へ打って出るというのについて研究されて、参考にしとるのねえかなという意味で質問させていただきました。だから、それをしてもらうたら、こっちも、いや、いや、こういうことで市民に対してこういうことでアプローチかけてやろうとしとんじゃ、結果は分からんけど、こういう方向で努力していこうと思

うとんじゃという、今までに本当に備前焼が始まって以来かなと思うたり、それも間違うとつたら言うてくれりゃあええと思う。参考にしようんじゃねえか、参考にしようんかどうか、それとあるいは、これ初めてじゃねえかと、歴史的に見てもな。そういう認識しようるかなというのをわしは思ようる。

**○大岩巡回企画課長** 市としてこれだけ備前焼振興に力を入れているのは、過去にはなかったことだと思います。ただ、備前焼の歴史、800年で焼き締め、釉薬を使ってないということで、六古窯の中でも一番古いというような認識もございますし、ほかの焼き物とは一線を画しているのかなというような感じでは自負しておりますので、他の焼き物にも十分対抗できるとは考えております。

**○尾川委員** だから、わしが言うよんなあ、伊万里とか、焼き物は違うけど、ああいう海外戦略については、少しアドバイザーに丸投げなんじゃろうけど、担当者もある程度研究して、歴史をひもといてどうじゃという、ちいたあその委託先に何もかんもじゃなし、ちいたあこうじゃねえかとか言うてほしいということを言ようるわけ。

**○大岩巡回企画課長** 全く丸投げじゃなくて、先ほどリクルートのところで私に変なことを言いましたんで誤解されとんかと思えますけど、それは現地スタッフの話でありまして、当然CEEJAさんもうちに來られまして備前焼のよさも感じ取られておりますし、その辺は十分共通認識を持ちながら進めていきたいとは考えております。

**○藪内委員** 当初この巡回展は、販路拡大であるとか販売促進というのが入っていたと思うんですよ。何か先ほどから説明聞いとると、だんだん分かれて、それは商社のほうであって、この巡回展自体はPRの場であると。確かに先日の北前船のフォーラムでEUの担当官の方が、備前焼は日用品であっては駄目だと、美術品でありオブジェであると、それを進めていくようにというようなことも言われていましたけど、あくまでこの巡回展は、備前焼のPRだけですか。

**○大岩巡回企画課長** 備前焼のPRの先に販路拡大があると考えておりますので、このたびは美術的価値を高めて備前焼を周知していくと、その先には当然備前焼のファンになっていただいて、当然販路拡大にもつながっていくのではないかなとは考えております。

**○藪内委員** 私の勘違いだったらごめんなさい。当初は、作家の先生方が何か7名ぐらい一緒に行かれて、それで、その先生方のだけを展示されて、それでそれを売るみたいなことを何か言っていたと思うんですよね。さっきの説明で、販売はしてはならぬということで、これはなくなったということですか。

**○大岩巡回企画課長** ミラノで展示したものを持って回ろうとは考えております。先ほど申しましたCEEJAさんのストラスブールのほうに博物館みたいなのを持たれているんで、その建物を、2年間はそこが空いていると聞いておりますので、ハブとして使わせていただいて、そのミラノからその作品と、今回巡回展で募集する作品をそのストラスブールの博物館というんですか、そちらのほうにまとめて、そこをハブとして欧州をCEEJAさんの力を借りながら回って

いくというようなことで今考えて、経費節減を考えているところです。

このたびの巡回展は、どうしてもこの作品を見て会場で売ってほしいという人が出てくる場合もあるかもしれませんが、予約受付といったことはあるのかなとは考えておりますけど、基本的には売らないということと、あと海外の大使館であるとか、そういったところにてきたら寄贈もしたいなどは考えております。

**○藪内委員** 備前焼の格上げも大事ですけど、後で実売がついていくようによろしくお願ひします。

**○青山委員** 美術品としての価値を高めるということで、備前焼作家、先ほども300名から400名ぐらいおられるということで、どの辺のターゲットを考えられているのか。むしろ備前焼をやって後継者がいなかったり、収入にも困られている人というのはかなりおられると思うんですけど、その辺のお考えというのは。

**○大岩巡回企画課長** 備前焼も二極化というんですか、高価なもの、パトロンがついてくださっているような高価なものをおられる方もおられますし、日用雑貨的なものを専門にしている方もおられると思うんですけど、どちらがどちらというのではなくて、備前焼はアートとしてこのたびはそういったファンをつくっていききたいと、その先に備前焼を買っていただくというようなことができればいいのかと思っております。

**○青山委員** 販路を広げるといのは、いろいろな方にチャンスが生まれるとは思いますが、何となく話を聞いていると、上位の方が中心になって、本当に困られている作家の方に光を当てるといのか、その辺、この欧州とかニューヨークに拡大するということで、何かその先を考えられとるといことはないんですか。

**○大岩巡回企画課長** 外国、欧州がそういった、前から申し上げますとおり、わび寂の分かっていただけというのが、フランスの方とかは焼き物のストーリー性を重視される方が多いとお聞きしていますので、備前焼のそのストーリー性でファンをつくっていくということで、後々それが、前から言いましたように、万博であるとか国際芸術祭のときに、そういった方で来ていただくということも考えておりますし、当然国内では国内で備前焼のほうの催物というんですか、フェアもしていますし、備前焼まつりもしていますし、そういったところで国内でも同時に備前焼の振興には今も努めているところでございます。

**○青山委員** ここに広告費用ということで、ホームページであるとかSNS、そういったようなものを作成してやるということもあるんですけど、若手の備前焼の作家の中には、独自でそういうものを使って海外へ販路を広げたり、そういう方もおられます。こういったようなところで、いろんな作家を巻き込んでやっていくというのは考えられないですか。

**○大岩巡回企画課長** このたびも作家の皆様全員の方に出展されるかどうかということをお聞きする文書を、もし予算が通らせていただいたら発送する予定にしておりますので、皆さんどなたでも手を挙げていただければ欧州に持っていくような感じでは考えております。

○青山委員 美術的な価値のあるということ、なかなか手が上がらないんじゃないかなと思うんですけど、もう一つの商社のほうで、ちょっとランクを下げてとか、そういったようなことでぜひやっていただきたいと思うんですけど、いかがですか。

○大岩巡回企画課長 先ほど申し上げましたように、二極化していると思うんで、その辺も、言い方は悪いですけど使い分けしながら、備前焼の販路拡大というんですか、PRはしていきたいとは考えております。

○石原委員 いただいとる資料の一番上ですけれども、会場借り上げ費用、7会場もう均一で見込まれておりますけれども、場所としてはどういったような、これから事前調査で詰めていかれるんでしょうけど、今のところですけど、どのような場所を想定されとる、会場。

○大岩巡回企画課長 会場はギャラリーか、美術館的なもの、あと公の日本文化会館であるとか、EUの欧州議会の27か国の方が見ていただくような部屋がありますので、そういったところも考えながら進めております。

○石原委員 それから、中段下辺りの物流に係る費用のところ、作品輸送でもう一式で450万円見込まれておりますけれども、これはイタリア・ミラノの際、提案時に日本とイタリアのミラノ間で、それだけで300万円でしたか、それから保険料が200万円、もう輸送のところとにかくすごい金額になるんだなという実感したんですけど、こちら、欧州各国なんで、距離的なことで輸送方法もあるのかも分からんですけど、これぐらいでいけるんですか。どれぐらい送るか分からんですけど。

○大岩巡回企画課長 今見積りでそういった美術品とかを輸送していただいている業者に見積もってこのくらいの金額、当然手持ちで運んだらもっと安くなりましようけど、一応正式に美術的価値のものでこれだけのもので保険を掛けたらこのくらいということでお聞きしております。

○石原委員 さっきの、イタリア・ミラノへ送った先に、人間国宝さん、県の重要文化財保持者の方の作品のようなものは、もうそれをそのまま巡回展にも引き続き巡回して展示をすると言われたんですか、想定では。

○大岩巡回企画課長 はい、そのようにいたしたいと考えております。

○石原委員 それから、僕前のときもお話をしたか、市も備前焼振興の専属の課もあるわけで、これは販路拡大であつたり振興に向けて取り組まれていくんでしょうけど、じゃあ何を実際に、今回の件についても海外であればどこへとか、どういった範囲でというようなところは、まさしく関係者というか当事者の方々と、じゃあどういう形を目指して進んでいくべきかというのは、やはりまずは当事者でしょうから、その方々とお話をしながら、じゃあ欧州であつたり米国であつたりアジアであつたり、分からんですけど、そういうところで進められていって、8月定例会のイタリア・ミラノ提案時のときに、その時点でもう既に市長は、イタリア・ミラノをキックオフとして今後は巡回展を各国で考えていきますみたいなことをもう言われとったじゃないですか。だから、肝腎要の当事者、備前焼作家の皆さん方、関係者へは、イタリア・ミラノに続いて

こういう形で各国で巡回展を実施します、これだけの費用をかけて、それ、当事者との皆さんとの間ではどういふこれまで提案に至る過程、お話しなり協議なりされとんでしょうか、巡回展に関しては。

**○大岩巡回企画課長** 関係者の方には、特に個々には当たっておりません。今回もし予算が通りましたら、文書でこういった趣旨でこういったものをしますので御参加をとということで御案内はしたいと考えております。

**○石原委員** じゃあ、かなり多くの方が、もし仮に作家の方が、私のこの作品も、私はこれよとかとなれば、どういふ選定をされるんか分かんなんですけど、量によっては、さっき言った作品輸送に係るところが大きくなることも当然考えられましようし、だから、そこらあたりが、さっきの「第九」の歌のことでも申し上げましたけれども、提案に至る検討経緯の中で、当事者であったり市民であったり関係者であったりを十分に交えた上で方向性を見いだして、じゃあそれに向けての予算がこれだけ必要だということが出てくるんならまだ分かるんですけど、もうこういう形でもう細やかに、明細的なところまで出てきて、その段階で予算がもし可決されれば、今後、作家、当事者の皆さん方に御案内という進め方は、ここでも大いに違和感を感じるんですけども、それは予算が通らんと何もできんのは分かるんですけど、市長が方向性としてもう明言をされとった8月定例会時点からしばらくもうたっているじゃないですか。予算はままだけれども、市としてはこういう方向で考えています、備前焼関係者の皆さん、ぜひ一緒にスクラム組んでいきましょうということに進んでくるべきじゃねえかな。まあまあ、もう今もうこういう形が出てますんで、そここのところは、僕今回も指摘をさせていただいて、進み方としては少し納得がいかんところがありますということ、これは意見ですけど。

**○中西委員** 私も備前焼の関係者の皆さんとの話合いがされてないというのが大変心が残るところです。

そこでお伺いをするんですけど、作品輸送と書いているんですけど、これはどのくらいの量を考えておられるんでしょうか。もう一つは、ミラノへ残してきているものがあるのかな。どっか海外にまだ残していると。残している分と新たに募集をかける美術品としての価値のある、これはどのくらいの量を考えておられるんでしょう。

**○大岩巡回企画課長** まず、海外に残しているものはございません。ミラノで、8月のときには24点と申し上げていたと思うんですけど、ミラノの大学の喜多先生にデザインのほうで、ミラノ大学の今デザインで展示のスペースとか決まったんで考えていただいているんですけど、そういったものを含めて、今回募集をかけて出てくる品については、まだ手を挙げていただけていないのでどのくらいの数が集まるかというのは分かりませんが、手を挙げてくださった方の物については、全て欧州に持っていかせていただきたいと思いますと考えております。

この450万円といいますのは、美術的価値の物を保険を含めてこうやって輸送したときにこれぐらいかかるということをお聞きしておりますので、数が当然増えましたら上下はあると思う

んですけど、一応これぐらいの金額を今設定しています。

○中西委員 ですから、その450万円で持っていける数はどのぐらいのものなんですか。

○大岩巡回企画課長 ミラノのときが24点で300万円で、保険がたしか200万円だったと思うんですけど、その物の大小にもよりますし、重さにもよりますんで、この450万円で何個ということはございません。こういった会場である程度24個、会場が7か所ですとしたり、展示品も入替えもできましようし、そういったことで展示会の会場がこのぐらいのスペースだったらこれぐらいの個数でということ考えておりますので、24個、置き方にもよるんでしょうけど。

○中西委員 これだけのお金をかけて、たった持っていくのが二十数個、ミラノのときが24点で500万円だったことを思えば、今回450万円ということになると、7つの町を回るわけですから、その費用は、持っていく個数はもっと少なくなるのかなというような感じを受けるんですけども、それで備前焼の当事者の方に案内を出して、どれくらい集まるのかということも気にはなりますけども、持っていけるものが大体もう決まっているという、7つも町を回るわけですから、輸送料は恐らくその24点よりももっとかかるんじゃないかと思うんですけど、そのぐらいの点数と思っとけばよろしいですか。

○大岩巡回企画課長 ミラノが24点と申しあげましたので、運び方にもいろいろ方法、8月からいろいろ考えて、なるべく安く持っていくように、例えば手荷物で持っていくであるとかを考えておりますので、個数は、これが例えば100点になるかもしれませんし、50点になるかもしれませんし、24点とは考えておりません。

○中西委員 しかし、ここで450万円を出してしまうと、ほぼ個数は決まってくるんじゃないかなと。個人で手荷物で持っていけるにしても、それは量がしれているでしょうし、ということじゃないかなと思います。

あわせて、これが美術品だというのはどなたが判断されるんでしょうか。

○大岩巡回企画課長 御案内する中で、海外のこういった博物館とか美術館に飾るものを出展してくださいということでお願いいたしますので、その美術品とって私どもが申しあげていますが、本人さんの考え方一つで、これが私の美術的価値のものであると言われれば、それが美術品ということで海外には持っていかせていただくかは考えております。

○中西委員 そうすると、持っていくものについては、その出展をされる方の意思を尊重すると。ですから、断ることはないということなんでしょうか。

○大岩巡回企画課長 今のところ断ることはないと考えております。

○中西委員 あと、この事前の調査渡航に関わる費用なんですが、私もこの費用とこの予算書に出てきている企画調査委託料の600万円の差が基本的によく分からないというのを大前提にして伺いするんですが、事前調査渡航に関わる費用で、職員1名と委託業者1名、委託業者というのは、この業務を運営しているどっか委託業者なんでしょうか。

○大岩巡回企画課長 当然現地の旅行会社、通訳の方、あるいはCEEJAの日本の方、いろいろ考えられるんですけど、その補助金の実施主体の方で、そちらは考えていただくということで、今のところ旅行業者、コーディネーターの方を考えております。

○中西委員 費用が職員と委託業者でえらい差があるんですけども、これは何でこんな差が出てくるのでしょうか。

○大岩巡回企画課長 通訳の差でございます。

○中西委員 上段の職員1名というのは、欧州10日間、読んでみると渡航、宿泊、通訳、現地交通等というて書いとんですよ。その委託業者には、通訳というのは入ってないんですよ。

○大岩巡回企画課長 入っておりません。

○中西委員 だから、どうしてこんなに金額が同じ日程の中で違うんかと。

○大岩巡回企画課長 委託業者の方は通訳は要りませんので、職員の旅費の中に通訳費用がオンされているということで、職員のほうが高くなるということでございます。

○中西委員 職員の中にもう一人通訳がいるわけですか。

○大岩巡回企画課長 通訳費用は、当然海外ですので、フランス語であるとかできない場合は、当然通訳が必要かと考えております。

○中西委員 じゃあ、これは職員1名の費用じゃないということですね。

○大岩巡回企画課長 職員1名の費用です。

○中西委員 だから、職員1名に通訳がついていると。

○大岩巡回企画課長 職員1名の中に通訳費用がオンされているということで、委託業者の方が通訳できる場合もありますし、そういったことで計上させていただいております。

○中西委員 委託業者1名というのは、この人が通訳したりするわけですか。

○大岩巡回企画課長 はい、コーディネーターの方でしたらできます。

○中西委員 しかし基本的には委託料として別枠で入るんじゃないですか。

○大岩巡回企画課長 委託料、普通に海外に行ったときに、私も今まで行っておりますけど、その中には当然コーディネーターの方、通訳の方も当然同乗というんですか、一緒に御同行願うんですけども、その中には、その人の費用と、当然私どものその方をお願いする通訳費用がオンされておりますので、そういった考えでございます。

○中西委員 そうすると、この補正予算で出てきている委託料の企画調整委託料の職員2人、コーディネーター2人、600万円の中の職員2人についても、通訳料が入っているんですか。

○大岩巡回企画課長 はい、入っております。

○中西委員 もう一つ、私分からないと言ったのは、この補正予算とこの資料にある事前調査渡航に関わる費用、これの差というのは何なんですか。

○大岩巡回企画課長 委託料が、例えば職員が2名でコーディネーター2人でしたら600万円になりましたら、1人割ったら150万円ということになりますし、そういった意味のことを言わ

れようんでしょうか。

○中西委員 この補正予算の委託料の目的と、資料で出てきている事前調査渡航に関わる費用、これの違いは何なのか。

○大岩巡回企画課長 委託料の600万円は、もしこの予算を通していただければ1月中には市長を含め職員、今のところ予定では予算上は2名とコーディネーター2名を考えておりますが、こちらのほうで現地のストラスブールのところの会場を見てくると、あとミラノとあとパリを現地で調整してくるということで計上しております。その補助金の事前調査渡航というところは、実際に会場が決まりまして、現地の状況をその補助金主体者が事前に見に行くということで、その違いでございます。

○中西委員 この補正予算の委託料で行く職員2人というのはどなたなんですか。

○大岩巡回企画課長 まだ決まっておりません。

○中西委員 これは市長も見に行くの。

○大岩巡回企画課長 はい、予定では。

○中西委員 その予算はどこに出てくるんですか。

○大岩巡回企画課長 市長は、海外はいつも御自身で支払っております。

○中西委員 海外へ行くお金は個人で払っていると。

○大岩巡回企画課長 はい。

○中西委員 公の公人として海外に行くのにどうして私費になるんですか。

○大岩巡回企画課長 旅費の請求につきましては、当然本人の請求があって支払うものと理解しておりますので、御本人の御請求がなければお支払いしないということで理解しております。これまでもそのようにいたしております。

○中西委員 昨年度の決算を見ても教育関係で約4億円未執行、使っていないお金が出ている。産業建設関係でも、かなりの金額が使われていない。大変厳しい状況でありながら、備前焼については、当事者の方たちとの話を十分せずに海外展開をしていくと。大変私はそういう意味では危惧をしています。それも持っていく備前焼の数も大変限られた数しか持っていけないというにもかかわらず、これだけの予算をつけてしまうというのはいかがなものかと思えます。

○大岩巡回企画課長 限られた数という意味が分からないんですけど、募集をかけて応募してくださる方の作品については、先ほど申しあげましたように全て持っていかせていただくと申しあげておりますので、限られた数ではないとは考えております。

○中西委員 500とか600というんだったら分かりますけど、恐らくそんな数にはないだろうと。ミラノに持っていったものが24点、これが500万円かかっているわけですから、今回が450万円ですから、これはこれだけのお金をかける割としては限られた数としか私は言いようがないと思えます。

○西上委員 今までの話を伺っていると、これは国の予算がもしつくるとすれば、財源更正がさ

れる可能性があると思ってよろしいですか。

○大岩巡回企画課長 文化庁の補助金になるんですけど、事業費の2分の1の上限3,000万円の補助があるんですけど、財源更正はもし催促されればあるとは考えております。

○中西委員 見込みはいつ頃ぐらいの予定なんですか。

○大岩巡回企画課長 2月の補助申請で採択が3月末ぐらいだと思うんで、当然4月以降の事業費に対して対象になりますんで、3月、実施した令和6年度の実施分が補助対象にはなるとは考えております。

○森本委員長 休憩に入ります。

午後0時00分 休憩

午後1時00分 再開

○森本委員長 委員会を再開します。

午前中最後、巡回展の辺りで終わっていたと思うんですけど、巡回展に関しては質疑はよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

そうしたら、商工費まで、ほかで質疑のある方。

○中西委員 18ページの商工振興費の備前片上ひなめぐり補助金230万円ですが、この追加補正になった理由についてお聞かせください。どうして当初の予算できっちりお金がついてなかったのか、今回の追加補正の理由。

○坂本産業振興課長 この備前片上ひなめぐりの事業につきましては、御承知のとおり3月に開催をされております。その際には、当初予算が締め切られておりまして、この令和5年3月に実施された際に反省点が実行委員会の中で上げられております。そういったものが、この令和5年度の当初予算には反映されていなかったということから、実行委員会から御要望をいただきまして、今回の補正予算となっております。

○中西委員 例年はいつも当初の予算で上がっているんですけど、令和5年度は当初予算に上がってなかったと。

○坂本産業振興課長 例年当初予算に計上させていただいております。この令和5年度の当初予算にも計上をされております。

○中西委員 だから、追加補正ですよ。

○坂本産業振興課長 追加で間違いございません。

○中西委員 どうして追加補正が行われたのか。

○坂本産業振興課長 時期的なものとお理解いただけたらと思います。

○中西委員 本来はこういう補助金が追加で上がるということはないんで、当初でつけばそのとおりということなんですけど、その理由についてももう一回お聞かせください。

○坂本産業振興課長 3月にこの片上ひなめぐりが実施されます。されるときには当初予算がも

う締め切っております。この事業が終了後に実行委員会から反省点としまして安全対策など追加で検討する必要があると御判断されたようで御要望をいただいたことから、このたびの補正予算となっております。

○中西委員 なかなか私には理解ができない追加補正ですけども、補助金というのは当初上げられたものがそのままなるということですけども、内容的には具体的に何に使われるのかお聞かせ願いたいと思います。

○坂本産業振興課長 年々来客も増えているということから、安全を最優先としたいということから、警備員の増員、それから仮設のトイレも不足しているということで、それを増加で設置したいということ、それから市内外に広くPRをするということで、広告費など、こういったものが主なものとして計上させていただいた経緯になっております。

○中西委員 トイレはどのくらい増やすんですか。

○坂本産業振興課長 令和4年度が6基設置しておりまして、この令和5年度は14基ということで、8基増やすという計画をされるということで聞いております。

○中西委員 あと警備は、何人増やすんでしょう。

○坂本産業振興課長 16名増やすと聞いております。

○立川委員 何で産業振興課が所管するのかなという疑問なんです。

○坂本産業振興課長 もともとこちらの片上ひなめぐりの補助金につきましては、産業振興課で予算計上はしておりました。相手先が、もともとは備前商工会議所へ補助金を交付しておりました。それが、実行委員会へ直接というのが、昨年度、令和4年度から直接交付するということになったものでございます。

○立川委員 以前の流れということで、商工課か市民協働課かどっちかかなと思っていたんですけど、流れでということで理解させてもらいます。

それと、先ほどお話も出たトイレのアップとか警備員さんのアップ、これは、実行委員会の反省会で出たから要望してきたということの今お話しだったんですが、これ、全額この補助金で賄うということなんでしょうか。

○坂本産業振興課長 実行委員会の収支予算などを見させていただきますと、自己負担していただいている部分もございます。それから、協賛なんかを募っているという部分もございます。今回、そういった警備員でありますとか仮設トイレの設置につきまして、どの部分がどれだけ当たるかというのは、現時点ではまだ交付申請をいただいておりますから、収支予算の確認はできないんですけども、そういったあたりにどれだけ配分というのは、お答えしかねるところでございます。

○立川委員 であるならば、この230万円という金額を出されたその基準はどこに置かれたんですか。

○坂本産業振興課長 基本的に実行委員会から御要望をいただいております。実際のところ、お

おむねこの金額と伺っておりますが、まだ見積等これからという部分もございますし、実行委員会の中で最終御判断をいただくという部分もございますので、正直この実績として補助金が余った場合にはお返しいただくというようなあたりも、実行委員会とはお話をしております。

○立川委員 夏祭り等々いろんな補助金を出させていただいたということで、受け取るほうの実行委員会、かなりいろんなことで苦慮されて、今おっしゃったように、ほんならこれ残ったから返しなさいと、結構あちこちで摩擦が起きているということもお聞きをします。しっかりと予算立てと言ったらおかしいですけど、この部分については幾ら、この部分については幾らという補助金の出し方は考えられないんですか。もう井だけですか。

○坂本産業振興課長 立川委員おっしゃるとおりかと思えます。そこまでの精査ができていればいいとは私も思いますが、このたびのタイミングでは、ちょっとそこまで至っていないというところがございます、今後そういったところを予算を通過させていただきました後に実行委員会と協議をしてみたいと考えております。

○立川委員 くれぐれもそこら辺、ほかの補助金と比べて公平性といえば公平性なんでしょうけど、しっかりとこういう方針ですというのを市から出されて、今回の窓口は産業振興になっておられるんですが、ほかのお祭りなんかの補助金ですとまた窓口が違くと。じゃあ、これ、残ったやつ全部出せというようなところで、かなり、さっき申しましたように、皆さんストレスがかかっているところがありますので、市として統一的にできるように努力をいただきたいと思うんですが、これはいかがですか。課部連携で。

○淵本産業部長 今回は片上ひなめぐりの補助金ということで計上させていただいております、ほかの補助金との兼ね合いというのが今現時点では即答できませんので、申し訳ないんですけども、この場で即答というのがしかねる状況です。

○立川委員 即答は難しいでしょうけど、極力、さっき言いましたように、庁議とか、部長の連絡会議なんかで、うちはこうするんやけどもあんたところもこうしないかとか、この辺の連携をしていただいたらということなんですけど、それもお返事できませんか。

○淵本産業部長 ほかのいろんなイベントを含めてお祭りやっているところと調整をさせていただきたいと思えます。

○森本委員長 この関連はないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次の範囲に行ってよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

20ページ、8款土木費、2項道路橋梁費から、22、23ページの10款教育費、7項保健体育費までを範囲といたします。

○中西委員 道路橋梁費の財源更正ですけども、この道路は例の都市計画を外したところに新しくできる道路の財源なわけですか。

○藤森建設課長 市道浦伊部線でございます。

○立川委員 22、23ページ、10款の教育費、7項の保健体育費、12節で広告料100万円上げておられるんですが、内容と効果についてお知らせいただけますか。

○山本スポーツ振興課長 備前市出身の頓宮選手、山本選手が出演するテレビ番組を通じて、子供たちのスポーツへの魅力と関心を高めるとともに、備前を広くPRするための広告料として計上をさせていただくものです。

○立川委員 テレビ番組というお話があったんですけど、地方ですか全国版ですか。

○山本スポーツ振興課長 地方の番組になります。

○立川委員 プロダクションを通してと思うんですけど、見積りなんか取っておられるんですかね。

○山本スポーツ振興課長 はい、見積りは徴取しております。

○立川委員 内訳を教えてください。

○山本スポーツ振興課長 一応広告費として110万円の見積りをいただいております。

○立川委員 110万円の見積りということなんですが、詳しいというたら失礼ですけど、山本選手と頓宮選手の分だと今お話があったんですが、地方で放映時間、例えば契約期間3か月間とか、俗に言うゴールデンタイムとか朝とか、1日1回とか週1回とか、そういった条件的なものはお知らせいただけないんですか。

○山本スポーツ振興課長 条件的には、1回15分のテレビ番組で考えております。

○立川委員 15分の帯番で流すよ。それは、例えば1月から始まって3月までが契約なのか、1か月だけなのか、その辺の。

○山本スポーツ振興課長 特番で1度放送されるものであります。

○尾川委員 どの放送局か教えてもらえたらと思うんですけど。

○山本スポーツ振興課長 まだ決定はしておりません。予算が可決いただけましたら、民放の各社に見積徴取させていただいて決定する予定になっております。

○尾川委員 何を目的でその100万円じゃろう、これをするんかな。大体推察できるんよ。というのが、どういう回数になったり、またこれからもどんどんやっていくんか、そういうことを含めて、どういう感じへこんなのでくれえというて、また要らんこと言うたら委員長に叱られるけど、放送局がしてくれえというんか、それとも山本選手がしてくれえと言ようんか、家族がしてくれえと言ようんか、その辺詳しいことを教えてもらえたら。

○山本スポーツ振興課長 市としまして今年両選手すごく活躍されましたので、この機会に両選手に対する大変注目度が高い中で、子供さんに対して夢を与えられるような放送をとということと、備前市を併せてPRできるようなものをということで考えて今回企画させていただけたらと思います。

○尾川委員 せえで、特別賞か何か、自転車の選手、緑陽高校の生徒じゃった人が自転車じゃっ

たかな、その辺の人のことについてはあまりこういうことは考えて、わしは公平性というんでな、野球ばあせえでもええと思うんじゃ、わし、一つの基準できちっと本当にそういう夢を与えるんなら、自転車競技じゃってええし、アーチェリーだってええし、やるんならな。野球だけに特化するこたあねえとわしは思うとんじゃけど、その辺はどんなかな。

○山本スポーツ振興課長 委員さんおっしゃるとおりではあるんですけども、注目度というのはとても野球の場合高いものですから、やはりそちらを中心にどうしてもさせていただけたらとは思っております。

○中西委員 これは備前市が企画しているものなんですか。

○山本スポーツ振興課長 備前市でこういうふうにはPRできるようにということで考えております。

○中西委員 だから、この予算が通れば、どこの局になるか分からないけども、15分番組でという企画をそれぞれ提案して放映してもらおうという企画なんですか。

○山本スポーツ振興課長 はい、委員おっしゃるとおりです。

○中西委員 15分間の特番というのは、1回こっきりと、その備前市をPRするものを作るということなんですか。

○山本スポーツ振興課長 そちらのように考えております。

○石原委員 15分のテレビ番組ということですけど、時間は今のところあらかじめ想定されとんですか。

また、番組の内容というたらどういう形で想定をされているんですか、15分の中で両選手が出演するというようなことは。

○山本スポーツ振興課長 内容としましては、頓宮、山本選手のこれからの抱負とか、備前市への思いとか、それから後輩となる子供さんたちへのメッセージなんかを伝えていただけるような内容のものをさせていただこうかなと考えています。

○石原委員 これまでの御説明をお聞きしても、またここでも、もう何か議員、委員ですので、執行部に対して物を申すのも仕事の一つだと思うんですが、ここでも、じゃあ備前市をPR、それから、特に子供たちに夢をというふうなお話の中で、じゃあ100万円のこういう形で広告料の形で計上されておりますけれども、大変知名度の高い、注目を集める両選手ですから、当然備前市出身というのが必ずついて回りますんでそれは大いなるPRにもなるんでしょうけれども、備前市のPRと、それから特に子供たちへ夢をというふうなところで、これも一つの手法なんでしょうけど、市当局であつたり子供さんのことですから教育庁ですか、ここで言うたら、教育庁なんかも一緒になって、じゃあどういう形が備前市のために優位なPRかというふうなところで検討されて、よっしゃ、じゃあこのタイミングはこれでいきましょうというて、いろんな方法もある中、議論の中でこの形になったのか。だから、もう何か、じゃあそうじゃったら理想的かなと思うんですけど、もうこれが出てきていますので、これもまたもう判断せざるを得んのです

けど、参考までにこの検討経緯の中でそういうような議論であったり、そういうところをちらっとお聞かせいただければと思うんですけど。

○山本スポーツ振興課長 今回につきましては、こちらの担当と広報課と相談して決定をしております。

○中西委員 15分特番で備前市を広くPRするためということですから、市長は出演されるんでしょうね。

○山本スポーツ振興課長 そこまではまだ考えておりませんでしたので、今のところは両選手の出演を中心に考えておりました。

○青山委員 スポーツの関心を高めるということは私も大いに賛成なんですけど、ちょっと偏ってきているような感じがするんです。もうちょっといろいろなスポーツ、障害者スポーツも含めてあると思うんですけど、そういったようなものを中に挟むというようなことは考えられてないですか。

○山本スポーツ振興課長 今回いただいている時間が決められていますので、あまりいろいろなものを詰め込むことができるかどうかは分からないので、今のところはもう頓宮、山本両選手を中心の番組ということで考えております。

○青山委員 限られた時間の中で難しいということはあると思うんですけど、別の機会でもいいんですけど、ぜひほかのスポーツもしっかり大事なんだということをつまえた広報活動をできればお願いしたいと思います。

○立川委員 大体のスケジュールを教えていただけたら。分かる範囲で結構です。

○山本スポーツ振興課長 入札等も出していないので、まだ日程的なところは決まっておられません。

○立川委員 じゃあ、これ以上全く予定が立たないということですか。ある程度このぐらい、例えば春先とかお正月特番とか、そういったところの話は全くないですか。

○山本スポーツ振興課長 今年度予算でさせていただきますれば、3月までの放送で考えております。

○石原委員 広告料の件で、山本、頓宮両選手で15分番組なんですけど、収録はどういうような、いつ頃、先方さん、球団もありましょうけれども、いつ頃に想定されとんでしょうか。

○山本スポーツ振興課長 これまでにいろいろ使われている放送の材料とかもあると思いますので、そちらを活用しながら作っていただくようにはなろうかなと考えています。

○石原委員 それから、ほかの委員さんからも先ほど野球に関してというようなお話なんですけど、これも、あくまでまた機会がありましたら、これは提言なんですけど、身近なところでいいますと、淡路島の自治体さん、阪神の近本選手がたしか親善大使のような関係を結ばれて、そちらの自治体さんも取り組んでおられると思いますので、そういうところも一つ参考事例としてまた御研究なりいただけたらなあと、これは提言で。

○森本委員長 歳出はよろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、終わらせていただきます。

それでは、次、予算書4ページをお開きください。

所管別分類表は、表紙の次のページです。

第2表繰越明許費補正です。

○中西委員 総務費の屋根つき多目的広場整備工事は、これは何か長いことかかっていますけども、何で繰越明許になるんですか。

○小川吉永総合支所長 建設に当たり地盤調査をすることになりました。それで、その地盤調査の結果により実施設計書が初めてできることになったんで、その地盤調査に係る期間が、約、すいません、2か月間ほどかかりましたんで、完成が3月末までに間に合わないということになりました。

地盤調査に時間を要したからでございます。

○中西委員 地盤調査なんていうのは、造るときにえらいベーシックなところじゃない。それを今頃になって、それが2か月もかかったから繰越明許になるなんていうようなことは普通あり得ないんじゃないん。

○小川吉永総合支所長 もともと旧病院の吉永病院跡地に建てる予定で大丈夫だろうということ考えていたんですけども、念には念をとという言葉ではないんですけども、やっつくべきだということ判断しまして、地盤調査をやった結果、実施設計書の完成も遅れ、工事着工も順次ずれてきたということで、年度内完了が困難となりました。

○尾川委員 建設費が9,800万円、約1億円かかるんですけども、諸物価が上がって、かなり工事費がアップしとんじゃけど、内容的にまた地盤調査をするということで、そういった場合結構費用がかかって、本体は大分設計変更があったんですか。それとも、従来どおりの、前に見たような設計どおりのものが完成予定なんですか。

○小川吉永総合支所長 地盤調査を2回行いました。地耐力の調査と、液状化に対する調査をやりました。それと、サイズですけども、再調査をした結果、若干小さくなりまして、25掛けの68メートルのが、21から65メートルとなりました。最初のトータルの予算が9,800万円ということで、地盤調査2種類分と工事建設費を合わせてもこの9,800万円内で収まるということでもあります。

○尾川委員 当初の使用目的が明確になっとして、それで今、規模が小そうだったりして、それで使えるものが使え、そりゃあ金上げえというたらいろいろ事情があって工事費がアップすることは難しいかもしれんけど、当初の目的の施設がクリアできんで、そうしたら結局使うほうがまたちゅうちよするとか、使う予定が中身が変わってきたりせえへんかなと、それで要らん心配せんでもええんじゃけど、そういう懸念があったからどんなんかなと、工事費がアップ

せずに内容をこもう、こもうしていきょうると、何しいしたんか分からんようになって、また苦情が、せっかく金かけても苦情が出たりするようなことはねえんかなと、それは懸念で要らん心配するなと言うかもしれんけど、そういうことを聞いたかったんですわ。

○小川吉永総合支所長 まず、物理的に敷地内に入らないということがあります。それと、そんなに大きくサイズダウンをしたわけでないんで、これまでの目的のスポーツはできると考えております。

○立川委員 今お話を聞いて、私前回一般質問させてもらったときに、副市長は、サイズダウンもしません、金額も上げませんということを明言されたんですけど、今の小川さんのお話ですと、サイズダウンしているよということなんですが、間違いはないんですね。

○小川吉永総合支所長 はい、サイズダウンをして設計をしていただいております。

○立川委員 じゃあこの件は議事録等々見て、また別のところでやらせてもらいます。

それと、確認ですけど、今おっしゃった当初病院跡というお話があったんですけど、当初図面が出た予定地と今回調査されたところとはまた変わっているんですか、変わってないんですか。

○小川吉永総合支所長 同じ敷地内です。

○立川委員 当初図面で示された場所とは変わっているんですか、変わってないんですか。

○小川吉永総合支所長 同じです。

○西上委員 農業費の亀井戸樋門改修工事も繰越明許になっとんですけど、それから令和3年度当初予算から出て大分たったような気がするんですけど、この辺はいかがなんでしょうか。

○藤森建設課長 樋門の電動開閉機という自動で動くものが故障により開閉不能となっているという状況でありまして、このたび更新をする予定でございます。ただ、当初納期を考えていたんですけども、世界的な部品供給の遅れ等がございまして、想定よりも年度内が困難になる可能性があるということで、このたび繰越明許に上げさせていただくような状況でございます。

○中西委員 土木費の片上130号線道路改良工事、何か階段を造っていたのもう私は終わったんかなと思ったんですけど、これは何でこんなに時間がかかっているんですか。

○藤森建設課長 片上130号線ですが、これは物価上昇等の中、かなりの費用となるために、道路勾配等を検討しまして、擁壁が必要になってくるんですけども、漁協側のところに擁壁を設置する予定でございます、その擁壁の寸法をコンパクトにしたり、いろいろ検討させていただきようる状況で、このたび時間を要したということでございます。

○森本委員長 次行かせていただいでいいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

次、5ページです。

第3表債務負担行為補正について、質疑のある方。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で議案第108号中の産業部分の審査を終わります。

\*\*\*\*\* 議案第122号の審査（産業） \*\*\*\*\*

次に、議案第122号をお開きください。

議案第122号令和5年度備前市一般会計補正予算（第12号）について、産業部分の審査を行います。

補正予算書の4ページをお開きください。

第2表繰越明許費補正中、2款総務費及び8款土木費について質疑を希望される方。

○立川委員 4ページの繰越明許、たしか土木費で都市計画費でインクルーシブ遊具、香登が1,650万円上がとんですけど、これは何で同じ事業やのに総務だとか土木に分かれるんか御説明いただきたい。

○河井都市整備部長 都市整備部のほうで管轄しているのが、今繰り越しとるものと、それから残りの5つぐらいあるんですけども、それと各総合支所が持っているのが総務費のほうで計上になっております。その分けだけでございます。

○森本委員長 よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で議案第122号中、産業部分の審査を終わります。

説明員入替えのために暫時休憩いたします。

午後1時40分 休憩

午後1時55分 再開

○森本委員長 委員会を再開いたします。

\*\*\*\*\* 議案第108号の審査（厚生文教） \*\*\*\*\*

次に、議案第108号令和5年度備前市一般会計補正予算（第11号）について、厚生文教部分の審査を行います。

まずは、歳入の審査から行います。

議案書は、10ページをお開きください。

所管別分類表の歳入のところをお開きください。

厚生関係で、16款国庫支出金、17款県支出金が歳入の範囲です。

○立川委員 10ページ、16款の国庫支出金、3目の衛生費国庫負担金、2節予防費負担金4,441万2,000円、新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費国庫負担金の4,441万2,000円入っておりますが、この給付基準、何でこの金額が入ったのか、例えば1人幾らぐらいとか、そういった交付の基準が分かれば教えていただきたいんですけど。

○高橋保健課長 予防接種の健康被害の給付金につきましては、予防接種法により医療費、医療手当、死亡一時金、葬祭料等、各年度ごとに改定が行われますが、定額が決まっております。

○立川委員 定額という解釈をしたらいいんですか、4,441万2,000円。その率で計算した金額。

○高橋保健課長 18、19ページの歳出にも給付金として載せさせていただいていますが、このたびコロナワクチンによる給付内容が死亡一時金と葬祭料ということで、1件認定がありましたので、10分の10の補助ですので、歳出と同じ金額を歳入で計上させていただいています。

○立川委員 死亡と重度障害といろいろランクがありますよというお話でいいんですかね。ちなみに1件だけあったという、歳出もお答えがあったんですけど、これはどれが該当したんですか。

○高橋保健課長 このたびの補正には1件の認定がございましたので、補正予算を計上させていただいています。

給付内容は、死亡一時金プラス葬祭料でございます。

○西上委員 亡くなったということで、申請から結果が出るまで期間が物すごくかかるようなお話を聞くんですが、これも何年かかかったんでしょうか。

○高橋保健課長 8月補正で計上させていただいた案件につきましては1年半認定までにかかりましたが、このたびのケースは進達から認定までが1年という、少し短縮をされております。

○西上委員 1年かかったということで、これはもう期間が短くなるということも国のことじゃかなかなか難しいんでしょうけど、自治体の窓口もいろいろ手続に大変なんだということも聞きますので、十分よろしく願いいたします。

○森本委員長 ほかにありませんか、歳入で。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、歳出に移らせていただきます。

歳出のほうは、14ページをお開きください。

3款民生費、1項社会福祉費から最後まで、文教関係、一括でしますので、最後まで、23ページの10款教育費、6項社会教育費までを範囲といたします。

○尾川委員 17ページ、保育幼稚園費の需用費、修繕料131万1,000円、恐らくこの10月24日の追加資料で、遊具点検結果、修繕内容ということに従ってやっつけられると思うんですが、その辺説明してください。

○文田幼児教育課長 おっしゃるとおりでございます。遊具の点検の結果に基づいて修繕を行うものです。10月に遊具の点検を行いまして、けがの危険性のあるものと判断されたものについて修繕を行うものです。

○尾川委員 補正ということなんですけど、こういう点検というのは、もう定期的にやっつけると思うんですが、その辺、補正との兼ね合いは別として、こういう内容について、園としては申請は出てくるんですか。その点ちょっと教えてもろうたらと思うんですが。

○文田幼児教育課長 遊具の点検につきましては、別に点検料を用意しておりまして点検を行います。その結果によるものが、今回の補正なんですけれども、各園からの修繕というものを予選の編成の段階では、申請がありまして、そういったものを予算に修繕料として組み込んでいる

状況ではあります。優先順位を中で検討して、予算の範囲内で修繕を行っているところです。

○尾川委員 優先順位を各園に任せるとするのはよく分かるんですけど、バランスというか、要するに園長によって判断の基準が違うと思うんで、そのあたりの救済というか、公平性というか、均等に対応していくということについての工夫はされとんですか。というのは、事務局が直接現場に立ち会って確認したりすることがあるのかなということと言ようんですけど。

○文田幼児教育課長 園から修繕の相談がありました場合には、幼児教育課から担当が出向いて行って確認はさせていただいております。やはり、例えばガス漏れの検知器の修理があったりとか、突発的なものであったり、あとは防犯カメラであったり、どうしても優先順位の高いものというものから修繕はさせていただいておりますので、応急処置で間に合うものに関しては少し後回しになるというか、お待ちいただいているような状況もないことはないです。

○尾川委員 できる限り公平性というか、各園の園長の判断とか、あるいはというんじやなしに、第三者的な目できちっと施設をチェックして、安全性もあるんですけど、何のためにしとるかというのをよう確認して、チェックしてもらって、バランス取ってもらえたらなということをお願い方お聞きしようんですけど。漏れがねえのかなと。それで、本当にええようにチェックできとんかなというのが質問の意味なんです。そういうことで何かあったら。

○文田幼児教育課長 園長だけの御意見ではなくて、利用しているお子さんの保護者であったりとか、地域の方の気づいていただいたところも担当のほうで確認しながら修繕していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

○中西委員 点検からこの議会議決の予算ができるまで、使用中止か何かになっているわけですか、それとももう既に危険なものは直っているんでしょうか。

○文田幼児教育課長 今回の点検において、例えば撤去の必要があるとか、使用中止にするほどのレベルの遊具のものはありませんでしたので、今現在は使われている状況ではあります。ただ、修繕は、できる限り早急にはしていきたいと思っておりますので、安全性の基準に応じた修繕の内容となっております。撤去が必要であったりとか使用禁止にするレベルのものは、今回についてはございませんでした。

○森本委員長 関連でいいですか、遊具は。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ほかのところで質疑のある方どうぞ。

○立川委員 16、17ページ、民生費の社会福祉費、社会福祉総務費、20節扶助費400万円、身体障害者自立支援医療費の増加を計上しておられるんですが、説明によると、給付実績の増加に伴うということなんですが、どのようなものが増加になって、400万円というのは何件ぐらいの見込みなのか教えていただきたいと思います。

○浅野福祉事務所長 臓器移植の実績が5年度で1件ありまして、今後もう一件予定されていることから、この増加分400万円、ちょうど1件の移植費用が400万円程度と考えておりま

す。その分を追加しております。

○立川委員 臓器移植の分が1件見込まれておるから400万円計上しているよというところですね。これは、年間何件ぐらいあるんでしょうかね。

○浅野福祉事務所長 当初は1件程度を予定していましたが、今回既に1件ありまして、今後1件予定しているので増額しております。

○立川委員 過去に大体年平均何件ぐらいかというのは分かりますか。

○浅野福祉事務所長 ある年とない年がありますので、特には手元資料を今持っておりません。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出終わらせていただいていたいいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、次、5ページをお開きください。

○中西委員 18ページ、生活保護総務費の償還金利子及び割引料、国庫支出金過年度返還金とこのがあります。これは、新型コロナウイルス感染症セーフティーネット強化交付金事業の事業確定と。大きな金額が余っているんで、あまりこれを利用される方はなかった。何件ぐらいの利用があったんでしょうか。

○浅野福祉事務所長 この新型コロナウイルス感染症生活困窮者の自立支援金支給事業ですが、延べ34件248万円の実績で、当初予定が308万円、60万円分が少なくなっております。

○中西委員 この国庫返還金が1億円からの返還になっているんで、当初の目標は300万円ちょっとというけど、本当はもっと大きなものがあったんじゃないかと。だけど、あまりこのところは需要がなかったと、だから返したんだと思うんですけども。

○浅野福祉事務所長 1億円の部分で、一番大きい部分は医療扶助の部分で、その約6割程度ですね、6,000万円程度の返還になっている。その次が、生活扶助で3,300万円ほど、それから介護扶助の部分が400万円程度の返還になっております。あと自立相談支援が86万円ほどで、就労支援が113万5,000円。先ほど言いました新型コロナの関係が60万円ということで、合わせて1億円。大きな理由ですが、臨時特別給付金5万円、それから社協からの貸付金が20万円掛ける3回程度、それから新型コロナウイルス感染症の生活困窮者の自立支援金として幾らか出ております。それから、住居確保の給付金の特例、そういったものによって、当初予想した金額より下回ったと思っております。

○中西委員 その下の先ほど歳入のところで質疑のありました予防費の負担金補助及び交付金、死亡一時金と葬祭料でこの金額。ちなみに死亡一時金と葬祭料それぞれ幾らぐらい出るものなんでしょうか。

○高橋保健課長 令和3年度の臨時接種の案件でございますので、死亡一時金は予防接種法により4,420万円、葬祭料は21万2,000円と決まっております。

○中西委員 年齢、あるいは職業とか、そういうものによって死亡一時金なんかは変わるものなんでしょうか。

○高橋保健課長 年齢や職業等一切関与しません。定額でございます。

○森本委員長 それでは、戻ります。

5ページを開いてください。

第3表債務負担行為補正について。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑がないということで、以上で議案第108号中、厚生文教部分の審査を終わります。

\*\*\*\*\* 議案第122号の審査（厚生文教） \*\*\*\*\*

次に、議案第122号令和5年度備前市一般会計補正予算（第12号）について、厚生文教部分の審査を行います。

これは、歳入歳出一括で行いますので、質疑のある方はどうぞ。

○立川委員 歳出の10款教育費、3項中学校費、3目の学校管理費、財源更正、吉永のグラウンド、備前中のグラウンド、取り消しておられるんですが。国庫支出金が1,466万6,000円、地方債の発行が2,930万円、これでできているわけですから、残った4,400万円、要望の出ておりました日生と三石もするようなお考えは全くありませんでしたか、削らなくても。

○竹林教育総務課長 あくまで今回は国庫補助金が出るということでの財源更正にしております。

○立川委員 補助金が出れば、従来予算が通っているわけですから、ほかに要望が出ておりました日生と三石のをするお考えはこれっぽっちもなかったかお尋ねをしております。

○竹林教育総務課長 今回については、特にプラスで歳出を組むということは考えておりません。

○森本委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

第2表繰越明許費補正。

○中西委員 財源更正がされるということになるわけですが、このグラウンドの改修というのは、もう即決でやってくれと、物すごい急いでと言われていたんですけど、なぜこんなゆるゆるとやることになったんですか。

○竹林教育総務課長 執行に向けてもちろん準備はしておりましたところ、国の補正予算の関係で国庫補助金が追加でといいますか、新たにつくというお話がございましたので、繰越しというのは、結局国の補助金の交付決定を受けた後でないと着手しては駄目だという制限がございますので、交付決定、恐らく2月から3月と県からは聞いております。その交付決定後に着手ということ、契約締結になりますので、年度内の完工が難しいということで今回繰越しをお願いしてい

るところでございます。

○**中西委員** 今日にでも明日にでも工事をやりたいということで、備前市の独自の財源でやると言っとられたんですけども、なぜ国の交付決定をゆるゆると待っているわけですか。どうして早くグラウンド修理をしなかったんですか。

○**竹林教育総務課長** 施工方法とか内容について検討をずっとしておりましたので、ちょうどそのタイミングでの国庫補助金という話がございましたので、財政事情等勘案しまして、その流れでやるということで決定しております。

○**中西委員** えらい即決を求められる、どうしてもしないといけないと言われていたものが、こういったように長々と延びて、最初の説明とは大分違うんじゃないかと私は思うんですが、工法とかについては、何か決まったんでしょうか。

○**竹林教育総務課長** 現時点の予定でございますが、ある程度金額、この補助金等の絡みもございますが、上限を決めて、公募型のプロポーザルというような手法を取ろうかと今のところ考えております。

○**中西委員** 公募型のプロポーザルの工事発注は、何か備前市の特徴のような感じに私は思いますが、いつ頃これは工事をされる予定なんでしょう。

○**竹林教育総務課長** 補助金の交付決定の時期がまだ定かではございませんが、3月頃になる見込みと聞いております。それ以降に業者選定をして、契約、それから工事の着手という流れになると考えております。

○**中西委員** 普通こういう工事というのは、学校が休みのときにやるのが普通なんですけど、これは3月あるいは4月、5月、6月、月で言えばどういふときを考えておられるんでしょう。

○**竹林教育総務課長** 例年ですと、春には運動会等もまたあるかと思えます。そういった時期に重なるような時期にはやはりしにくいだらうということもございますので、現場、学校との協議で決定していきたいと考えております。

○**中西委員** そうなると、予定としては夏頃ということになるわけですか。

○**竹林教育総務課長** 施工時期について、国庫補助金を受けて以降のスケジュールで学校と協議がまだ調っておりませんので、これからの相談になると考えております。

○**中西委員** 今年の6月定例会でこれをやった、即決でやったやつですけど、やはり議案の出し方については、これは今後とも十分注意をしていただきたいということをお願いをしておきたいと思えます。

○**青山委員** 先ほど立川委員の質問に日生中、三石中に行わない、行く考えはないとおっしゃったんですけど、一般質問で一番条件の悪いところが2つ残っているんじゃないかなど。伊里中以外にもまだそういった工事が行われてないところのそれぞれの状況を調査して、そして一番条件の悪いところから始めていただきたいというか、これだけ遅くなるのであればです。先ほどのまた来年の夏になるんじゃないかという話なんですけど、もともとこの工事をするというお考え

は、6月に行われた体育祭の際に雨が降って不便をしたというところがあったんですけど、また梅雨の時期を通して夏休みになるというところがよく根拠が分からないんですけど。

○竹林教育総務課長 日生中、三石中もそうなのですが、財源の課題がございます。財政事情を勘案しながら今後検討するというところで、一般質問のときにも市長答弁されているかと思えます。そんな中で、やはり財源がなくてはできないというところもございますので、最少の経費で最大の効果というところで、財源も含めて検討しているところがございますので、そういったところで期間が延びてしまっているというところにつきましては、もう大変申し訳ないなと思っております。

○青山委員 もともとは昨年の夏休みに工事というときにはそれなりに財源があって、そしてそれが長引いて補助金を充てるためになつたということは、財源はあるんじゃないですか。

○竹林教育総務課長 もともと財源として充当されておりますのが、まちづくり振興基金といいまして、合併特例債を元に積み立てた基金でございます。財源側につきましては、私ども担当のほうでなかなか申し上げにくいところはあるんですが、やはりそういった基金も当然取り崩せばその分ほかのことにも使えない、当然減ってしまいます。その代替えとして国庫補助金等があるのであれば、やはりそちらを優先して使うというのは当然のことかなとは考えております。

○青山委員 本当に急遽思いつきのような感じで始まった、そういう事業で、ほかの2つの中学校、やはりそこを含めて検討していく時間ができていたんじゃないかなと思うんですけど、本当にそのあとの2つについてはもう今後検討はなされるのですか。

○竹林教育総務課長 やはり国庫補助金等で有利なものがあればもちろんそれを優先して考えていくと、そういったタイミングで財源を考えながらやっていけたらとは考えております。

○森本委員長 それでは、以上で議案第122号中、厚生文教部分の審査を終わります。

説明員入替えのため、暫時休憩いたします。

午後2時27分 休憩

午後2時39分 再開

○森本委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

\*\*\*\*\* 議案第108号の審査（総務） \*\*\*\*\*

次に、議案第108号令和5年度備前市一般会計補正予算（第11号）について、総務部分の審査を行います。

まずは、歳入の審査から行います。

10ページをお開きください。

所管別分類表も歳入のページをお開きください。

審査範囲は一括といたします。

20款繰入金、23款市債が範囲です。

○中西委員 基金の繰入金ですけども、財政調整基金繰入金というの、主なものはどこに行つて

いるんでしょう。

○**榮財政課長** 今回の財政調整基金繰入金につきましては、先ほど厚生部門がありましたが、そちらのほうで国庫支出金過年度分返還金というのが発生しております。こちらのほうの総額に充当をさせていただいております。

○**中西委員** 過年度返還金というのは、たしか1億円でしたよね。ここでは財政調整基金繰入金は、1億9,000万円ですよ。だから、9,000万円ほどはどこかよそへ行っているということなんで、どこへ行っているんでしょう。

○**榮財政課長** 細かく申し上げますと、まず17ページの社会福祉費の中の国庫支出金過年度分返還金484万3,000円、それからその下、民生費、児童福祉費の中にも、それぞれ国庫支出金過年度分返還金がございます。ページをめくっていただきますと、次の19ページの中にも同じように、一番大きなもので生活保護費が1億66万7,000円、その下の保健衛生費も7,719万7,000円といったような高額なものがございます。こういったものの相当額を繰り入れております。

○**森本委員長** ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出に移らせていただきます。

14ページをお開きください。

14ページ、2款総務費、1項総務管理費、6目、7目を除くから25ページ、14款予備費まで。

○**尾川委員** 15ページの総務管理費の一般管理費、職員手当等、時間外勤務手当が600万円の補正をされとんですけど、この内容について説明してもろうたらと思うんですけど。

○**青木総務課長** 実績なんですけども、4月から9月までの半年間の実績を見まして、月当たり平均しますと112万8,000円になりまして、それを12か月にさせてもらって、相当額を足りない分を補正させてもらっています。

○**尾川委員** 要らん心配せんでええんじゃけど、過労になりようりゃあへんのんかなと思うて、出すなあ別に仕事したら払わにゃいけんのじゃけど、それが何でこんなに増えてきとんか。定期的にあまり流れんからこういう時間外が増えてきようんじゃねえかというふうなことも、よう偉え人に説明して、負担になりようんじゃねえかなと思うて、わしがええ格好するんじゃねえけどな。働いたら払わにゃいけんのよ。じゃけど、それが過労になったりしてオーバーになったりしとったら、何でかという、仕事のやり方というのが問題あるんじゃねえかという指摘させてもらようんじゃけど、気になるから質問させてもろうとんです。

○**青木総務課長** 該当する者が32人おりまして、平均すると月当たり3万5,000円ぐらいになります。昨年度と比べて多少予算も下げていたんですけども、例年より少し上回る時間外がありましたので補正させてもらいましたので、健康管理には十分気をつけてやっていきたいと思

いますので、ありがとうございます。

○中西委員 32人というのは、主にどういう部、課の人たちになるんですか。

○青木総務課長 会計ですとか危機管理課、事業推進とか職員係とか財政課とか、秘書、電算が該当になります。

○中西委員 その下の旅費の普通旅費、細部説明見ていると中央省庁への訪問、協議等の増加に伴う、中央省庁なんかは何の理由があって行かれているんでしょう。

○神田秘書課長 当然のことながら、国の省庁へ要望にも参ります。それから、交付金の各種協議等にも参ります。それ以外にも、渉外事業として政策実現のための協議であったりというものが考えられるかと思えますし、現にそういったものに行かせております。

○中西委員 例えば、国があつて県があつて自治体があるわけですけども、県は、これは全く要望とか、あるいは政策とか協議とか、そういうのはあまり行ってないんですか。

○神田秘書課長 担当部署それぞれではございますが、広島にございますような地方局、岡山にあるような地方局、それから県にも当然行ってございますが、旅費につきましては県内発生してまいりませんので、公用車とかで行けば旅費の計上はないものと考えております。

○中西委員 今のお話ですと、東京の中央省庁じゃなくて省庁の出先のところへ行っているわけですか。

○神田秘書課長 中国地方の管内であつたら、当然のことながらその出先という言い方がいいのかどうか分かりませんが、広島にあるところであつたり、それから県内の岡山にあるところであつたりというのも含まれてございますが、それ以外に国の東京都の都内にございます各省庁にも行ってまいります。

○中西委員 そういうのは、県を通してとかではなくて、直接行っているわけですか。

○神田秘書課長 案件にもよるかとは思いますが、実際に行つとられるケースもございます。

○中西委員 県の役割は何なのかというのがひとつ問われるわけですけども、やはりそこは県とも協議をしながらやる必要があるんじゃないかと思うんですが。

○神田秘書課長 必要に応じて県にも行っておりますので、その辺は県ともいろいろ調整しながら運ばさせていただいていると思っております。

○立川委員 そういった中央官庁に行くために、ふるさと納税企業版を集めるために東京事務所2名もおられるんですが、その辺との職務のすみ分けといたら失礼なんですけど、その辺はいかがなんでしょうか。もう事務所は無視ですか。こっちから行かなしょうがないんですか。

○神田秘書課長 ケースによりますけれども、例えば予算の執行残が現計予算として少ないということで、岡山までお送りさせていただいて、東京事務所のほうにバトンタッチというケースもございます。市長のほうからも、そういう御指示もあつたりというような形で、上手に東京事務所と連携を取りながら進めさせていただいております。

○立川委員 もちろんそうだと思うんですが、分析はできますか、199万4,000円。東京

も日帰りをされているのか、それとも宿泊はどこに費用が計上されているのか。

○**神田秘書課長** あくまで予算上の概算にはなりますけれども、当初予算編成方針でございます。東京1泊2日が4万9,850円という明記がございます。それ、掛ける、3月末までのトータルで40人ということで、2人掛ける5回掛ける4月という計算で199万4,000円計上させていただきます。

○**立川委員** 宿泊はどうなっています。どこで出しておられるんですか。もう全部日帰りですか。

○**神田秘書課長** 東京4万9,850円というのが、東京1泊2日の経費でございます。

○**立川委員** その下の11節の消耗品費155万円、説明を見ますとコピー機の使用に係る消耗品費、155万円もやったらコピー機のほうが安いような気がするんですけど、その辺の内訳を教えてください。

○**榮財政課長** 当初予算でコピー代といたしまして、コピー代にはプリント料と用紙代というのが含まれてまいります。そちらのほうを約700万円措置をしておりましたが、コピーの用紙代の単価が上がりまして、A4サイズで令和4年度前年に比しまして26.5%、A3サイズ、35.8%の値上げということがございました。それからあと、前年末の用紙のストックが少なかったために、例年よりも多めに用紙を購入する必要がありました。それに加えて、細部説明にも書いておりますが、印刷機が故障しておまして、故障して使えない分が複合機、コピーに流れたということで、これらの要因から今回155万円の追加の補正をお願いしているものでございます。

○**立川委員** 用紙代も上がったよというの分かるんですが、コピー機の修理は実際どの程度かかられたんですか。

○**榮財政課長** 印刷機が現在故障して使えません。補正予算で印刷機の購入の予算を承認いただいておりますので、今手続中でございます。1月中には新しい印刷機が導入される見込みです。

○**立川委員** 早めに数をおっしゃってほしいんですけどね。印刷機の故障に伴いと書かれてあるんで修理するのかなと思いますし、あれ、予算ついたのでなと思ったりしたんですけど、増加したのは、先ほどおっしゃった用紙だけという解釈でよろしいですね。コピーは買換えと。

○**榮財政課長** 使用枚数も増加をしておるということでございます。印刷機が故障したので複合機に枚数が流れたと分析をしております。

○**立川委員** 課長の説明でプリント料と用紙代の2科目言われたんですけど、どう違うのかなと思うんで。

○**榮財政課長** プrint料というのが、複合機を導入しておまして、業者からリースといますか、借入れをしておまして、A4サイズで片面1枚モノクロで0.5円、それからカラーで6円といったような契約を1枚当たりしておまして、そのカウント枚数掛ける単価ということ

で毎月請求が来ております。これがプリント料でございます。それから、用紙は、別個に業者からこちらから必要枚数を発注して購入をしているという状況でございます。

○立川委員 プリント料というのはリース料金と解釈してもええわけですね。

○榮財政課長 そう理解していただいてもよろしいです。

○中西委員 例の20周年記念に関しての「第九」の話だけはお伺いをしたんですけども、所管の担当課では「第九」以外に何があるのかよく分からないということでしたので、総務で聞いてくれと、どのようなことを考えておられるのかお聞かせ願えたらと思います。

○馬場企画課長 20周年の事業といたしましては、まずは20周年の記念式典を合併日、令和7年3月22日土曜日になりますけれども、記念式典を開催することをまず考えております。それから、その際ですけれども、今現在、市史編さんですね、備前市史の概要版を配布予定としております。それから、債務負担で上がってございました「第九」の演奏会、それから前回の議会で予算をつけていただいた市歌を今のところ考えております。

それから、今現在予算編成中で、実施の有無の検討をしているものもございますので、こちらのほうはおいおい発表していきたいとは考えております。

それから、比較的市が現在行っております、定例的に行っております大きなイベントに、市制施行20周年という冠をつけて20周年記念事業ということで開催していきたいと考えております。何々に冠をつけるかというのは、まだ決定はしておりません。

○中西委員 恐らく庁議の中ではこういうのは検討をされていたんだろうと思うんですが、私がこのような形で聞くのではなくて、市のほうからこういうことを来年度は考えるけども、議会もどうでしょうかというような投げかけぐらいは私はあっていいんじゃないかと思うんです。議会に意見を聞くというのですね。

○今脇市長公室長 最初に大体この話が出たのは8月の頃に新年度の事業で大体いつ式典をするかとか、それからどういうものに冠をつけるかという話はしております。その後、予算化をした後にお伝えする形になろうかなとは思っていたんですけども、そういう形で、今の段階はまだあまり固まってないんですけども、場所の関係とかで式典をする日は3月22あたりがちょうど20年の節目がぴったりだろうということで、そのあたりをしたいなというところもあって、「第九」の話もありましたけど、それも年末あたりかなということで、ふわっとした形で8月の頃に話はしております。まだしっかり固まっているところではないので、実行委員会を立ち上げるようなものもございまして、予算等がもうちょっと固まったらまたお知らせしていきたいと思っております。

○森本委員長 歳出はよろしいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

歳出は終わらせていただきます。

次に、補正予算書5ページをお開きください。

第3表債務負担行為補正です。

○青山委員 備前緑陽高校サポート事業についてなんですが、一般質問でもさせていただいたんですけど、継続をしていかれるのか、単年度ごとで考えられるのか、その辺もう一回教えてもらえますか。

○馬場企画課長 基本的にはその年、その年の状況を見ながら継続で考えていきたいとは思っていますが、補助金でありますので、都度都度見直しを行いながら、継続、見直し、廃止等を検討しながら考えていきたいと思っております。

○青山委員 これが入試ぎりぎりの11月定例に出てくるということで、昨年もそうだったんですけど、学校としたらもうちょっと効果のある時期に予算がついて、それで中学校に働きかけていく、オープンスクールでPRするとかということに使ったほうが効果があるとおっしゃられているんですけど、市長の答弁では、入試の状況、その変化を見てやるんでどうしても秋になると言われたんですけど、いつまでたってもこういう状況なんですか。

○濱山総合政策部長 委員が言われる、より効果がある時期というのはよく分かります。定員数が定まらなかったからこの時期になった、今年度そういう時期になったと思うんですけども、できるだけ早い段階でそういうサポート事業が、この今回上げている事業だけでなく、いろいろ考えられる部分もまた高校とも連携しながら、いろいろ協議していきたいと思えます。

○青山委員 入試の定数云々ということもあるんですけど、再編整備が10年延びたということも理由に上げられたん。学校の魅力化ということにお金が使えないかな。そうすると、当初予算でサポート事業ということでつけて、それまでに学校ともいろんな話をされると思うんですけど、どう学校をサポートしていったらいいかというようなことも考えられるんじゃないかと思うんですけど、当初予算というのはいかがですか。

○濱山総合政策部長 この場で言えるのは、できるだけ早い時期にそういったものを計上していきたいと思えます。

○青山委員 継続じゃなくて単年度でというようなことで、今年でこれを打ち切るということになったと。何か効果としては薄いというか、中途半端な感じがするんですけど、この通学定期とか、あるいは学用品ということでやりますよということも含めて、4月の当初予算にというお考えというのはいないでしょうか。

○馬場企画課長 次年度の補助金という形になりますので、当初予算に上げておくと、例えば令和6年度のことを令和6年度の当初予算で6年度の補助金を出すということになると、周知のほうに間に合わないんで、どうしても債務負担という形にはなってこようかと思えます。この債務負担を例えば今回11月定例会でしたが、9月ですとか、その前の段階で債務負担を上げて、早くから来年に向けて周知していくということであればできるのかなとは考えております。当初予算では間に合わないかなと、逆に。

○青山委員 この通学の手当であるとか学用品というようなことですが、本当に学校でもっ

とをもって学校の中といたしますか、魅力づくりに使うというのは、もう少し協議検討していただきたいと思います。

**○中西委員** 今の課長の債務負担行為じゃないと届かないと、確かにそれはそう。しかし、債務負担行為で予算を上げてくること自体私は異常だと思うんです。当初予算で上げておいて、そして債務負担行為をするといんだったら理屈が通っていると思うんですけども、それはどうかなと私は思いました。

なぜ備前緑陽高校サポート事業という名前になってしまっているのかということが私は分からないんです。本来ならば、備前市内の子供たちが中学から進学をするとき、そのときに応援しますよというんだったら分かります。何回も言いますが、備前市内の子供たちはこの緑陽高校だけに行っているわけじゃいんで、岡山市内の高校もあるでしょうし、近辺では和気高もありますし邑久高もあると。かなり広範なところへ備前市内の子供たちは行っているわけです。その子たち全員を対象にしたそういうサポート事業をやるんだったら分かるけど、この緑陽高校に限って、それともそれも市外から来る子もサポートしますよと、これじゃあ私は備前市内の子供たちは浮かばれんと思うんですよ。なぜこの備前緑陽高校に絞っているのか、その理由をお聞かせください。

**○馬場企画課長** 備前緑陽高校サポート事業のできた経緯といたしますのが、市内で唯一の県立高校である備前緑陽高校をぜひ残したいということから始まった事業でございます。県立高校の再編整備基準が、先ほど委員からもお話がありましたが、再編整備基準が令和10年度まで保留された。この再編整備基準といたしますのが、第1学年の生徒数が100人を下回る状況が2年続けば再編整備の対象となる。それから、80人を切る状況が2年続くともう募集停止となるというのが令和10年度まで保留になった基準でございますが、緑陽高校につきましては、ここ数年大体120人程度の入学でございました。今年度は131人でございましたが。県内の出生数も年々減ってきている状況の中、他の高校もそうですけれども、緑陽高校についても100人を切る状況がもう何年後かには迫っている。この中で、緑陽高校を残すために助成金等を出すことによって生徒の確保ができないかということで始まったのが、本サポート事業でございます。

**○中西委員** 始まった話はそれで分かります。しかし、備前市は備前市という地域を持つ行政単位の自治体なのです。やっぱり備前市の市民のためにこそあってしかるべき行政を行うべきだと。もしこのようなことをすれば、不公平としか言いようがありませんが。同じ税金を払って、隣の和気高とかあるいは岡山市内の学校に行っている子はそのサポートを受けられない。そんな私は不公平なことはないと思いますよ。税金を払っている者からしたら、これはたまらんですよ、こんなことをされたら。

**○尾川委員** この間、12月16日に公立高校の進学希望調査結果が出て見られとると思うんですけど、緑陽高校は、私はこれ見て、どうしても邑久高と和気閑谷の数値を見るんです。それで、どう感じられとんかなと聞いて、それと今のこのサポート事業について、いろいろ今いうそ

ういう考え方もあるんじゃないけど、島根の島前高校なんかは、一々言ようったら時間が長くなるんじゃないけど、教員を採用したりとことを、進学校として残していきたいということで、島根を出てしまうからということがあって、その島前高校に特化して町がいろいろ費用をしとる。そりゃあええんですけど、要するにこの進学希望の調査結果第1次でどう思われとんかな。そのサポート事業の関連があると思うんで、その辺の感想を教えてもらえたらと思うんですけど。

**○馬場企画課長** 進学希望状況調査でございますが、まずは、緑陽高校でいいますと、今回が99人でありました。その前年が106人、その前の年が96人ということで、緑陽高校を希望される方はここ数年、大体同じような数で推移しております。それから、邑久高校につきましては、緑陽高校よりも希望者数が20人近く多い状況が続いております。今回が128人の希望、前年が137人、あくまでも第1次希望調査ですけども。その前が110人ということです。邑久高校につきましては、生活ビジネス科ができたときぐらいから大分希望が多くなったと考えております。これも邑久高校の売りの一つなんだろうと思います。ですので、この流れはこれからもあまり変わらないのかなと考えておりますけれども、緑陽高校につきましても、補助金もそうですけれども、バスのダイヤの改正でありますとか「広報びぜん」への掲載、それから市役所でのビデオでの、流して今おりますけども、そういうようなこともしたりしながら、それから緑陽高校の魅力を外に発信できる方法を模索しながら、今後とも継続して魅力発信に、緑陽高校の先生とも協力しながら進めていきたいとは考えております。

**○尾川委員** 邑久高は、いろいろ特別入試とテクニックがあるんじゃない、一般入試とのテクニックがあるんじゃないけど、全体的に見て邑久高が普通科でも1.20なんじゃない、全体で見たら。そういうのを見たときに、かなり厳しい。和気閑谷の普通科が0.59じゃから、これもなかなか厳しいと思うんじゃないけど。地域性もあるし、緑陽と邑久高の、その辺でよう見てもろうて、市長の答弁が、160が120になったんじゃないからサポート事業やめてもええんじゃないというような、違うかもしれんけど、わしはそう取れて、それは違うよとわしは個人的には思うとんよ。全体が減ってきてから160が120に、もう既に、何遍も言ようんじゃないけど、邑久高とか和気閑谷は120にしとるわけじゃから、緑陽が160で残ってきただけじゃからな。そういう前提を理解しながら、わしが言うのは、学校の先生に少しはどういうふうなことを思うとんか、どういうことを要望しとるかということをしちっと聞いてみるということも、どんなか知らんよ、知らんけど、そういうことをやっつけられるんかな。ちいたあ、学校の要望というのを聞いて、どうしたら魅力化が進めるんかということをしちっと相談やこうしようんかなと思うて。

**○馬場企画課長** 緑陽高校に協議会がありまして、そちらの委員として市長、それから総合政策部長、企画課長、教育長、教育振興部長でしたか、教育委員会と市から参加しております。それが年に3回程度ございますので、その折に学校等からもお話があれば聞いていくというような形を取っております。

**○尾川委員** こんな話をしたらおえんのじゃけど、幸い今の校長も定年じゃと思うんじゃ。残る

かどうか知らんよ。知らんけど、地元の人なんじゃから、きちっといろいろ正式な会議の場だけじゃなしに、プライベートなある程度情報がきちっとした、それが正しいかどうか知らんよ、直接行って、この校長は地元の人じゃから、そういう面で、きちっと情報をつかんで、何が学校には必要なかということをやよう調査して、せえでサポート事業を続けるんかというたら1年でやめるといったりするようなことをせずに、何がええかということをもっと、今言う、そりゃあ市内の中学生全体に補助せえという考えもある。あるけど、緑陽高校に絞ってやるということの目的をきちっと明確にして、それで校長にその辺の、どうしたらより効果が上がることができるかということをやってもらいてえんじゃけどな。その辺の考え方を教えてもらうたら。

**○馬場企画課長** 委員のおっしゃられるとおり、これまでも連携は取ってきたつもりでございますが、今後はこれまで以上に連携を密にして、情報収集等にも努めながら、緑陽高校の魅力づくりに努めてまいりたいと思います。

**○尾川委員** 要はもっと現場がきちっと、現場同士で本当に何が必要なのか、中学の先生にも聞いたらええと思うんですよ。備前中なら備前中でも。そういうことをやって、本当何が手として金を使うて、これだけの金を使うて何の効果が。だから、これを見たときに、希望調査見ても、決して楽観できんよ。1. 何ぼになつとるけど。特別入試を80%にしたり、前は少なかったんじゃ、それを上げてきとるわけじゃ。早う採りてえ。じゃけど、逃げる可能性があるんじゃねえかと思うとる、わしは。最終的に締めが分からんけど。じゃから、邑久高が結構ひがんどるわけじゃねえけど、人気が上がってきとんじゃねえかなど。心配しょうるわけ。今言う、いろんな基準でもってどうなるかとかという、そねえな最悪の場合は想定せんでもええけど、地域に学校がのうなったら、高等学校がのうなったらますます地域がな。じゃから、前も言うたけど、赤徳線一つにしても、帰るときに電車がなかったというたり、そんなちよろれえことをしょうたらそらあ来る者も来んようになると思うよ。よそを当てにしたらいけんと言うけえ、市内から岡山へ行くのはどうしても止められん面があるんじゃから。その辺をやよう現場で中学とか緑陽の高校の先生、校長先生に、今チャンスじゃと思う、きちっと聞いて対策を立ててほしいと思う。

**○立川委員** 今の事業なんですけど、昨年同じお話が出て、時期的にはどうなのかなと、今の時期なのかなということ、それは先ほどお話を聞きました。もう2点ございまして、魅力アップにどうやって取り組んでおられるのかなという点がございました。その点について、今の尾川委員からもお話があったんですが、本当に連携できてるのかな。もう大胆なことをせんとしょうがないわけでしょう。我々考えて、もう備前緑陽高校に、例えばですよ、今の中学校なんか部活の地域移行というのがありますけど、備前焼作家と一緒に備前焼の勉強ができるクラブがあるよと、例えばですけど、どうしても備前焼を志す人は来てくださいと、本場の備前焼作家に指導いただけますよとか、学校の魅力アップですよ。もう一つ言えば、備前緑陽高校の生徒を1人必ず備前市の職員に採りますよ。学内選抜でね。いや、例えばですけど。そういった極端な政策。備前市役所入りたければ備前緑陽に行ったらいいのよと。ただし、学内選抜があるよ、成績だけ

じゃないよ、オールマイティーで在学中には地域貢献もしてもらおうよといったことで、そういったところも一つあるのかな。だから、おっしゃったように、連携を深めますでは絶対前へ行かないと思う。過去、昨年同じお話が出たんですけど、その1年間で具体的にどういう取組をされたんですか。年に3回お話しするだけで、何かそういったお話が出ましたか。教えてください。

**○馬場企画課長** 3回の協議、それから緑陽高校で生徒さんを前にして市の職員のほうが講師で2コマほど行っているというような状況はございますが、それ以外では特にできていないというのが実情でございます。

**○立川委員** でしょうね。というのが、本当に何とか魅力アップするために考えたらいいじゃないですか。この前、御津高校でした、2週間限定ですけど私服通学オーケーです、女性はお化粧オーケーです、すごく評判になってました、生徒たちに。この黒いの引いたり、ちょっと色染めたり、僕らは染められませんけどね。染めたり私服で来られたり、すげえ反響があったみたいです、子供たちにとっては。同じ県立高校ですよ。だから、そういったところで、もう少し軟らかくいろんな面から考えてアクションを起こしていただきたいなと。さっき言われたように、学校と連携して、こんなことやってみようやないか、こんなこともいいんじゃないかというようなところでのお話をぜひとも進めてほしいんですけど、今のままだったら一緒ですわ。来年また同じ、この時期に、またやるんですか、事業おかしんじゃないですか、どんな魅力発信ですか、いや、年に3回ほど会議をしてっていうことで終わると思うんで、そうではなくて、本当に足を着けて奇抜なこともやったらいいじゃないですか。僕、備前焼クラブというの一番ええと思いますけどね。作家に頼んで。というようなことも本当に考えて、ここでしかできないという魅力に努めていただきたいなと思います。これはお願いです。

3点目なんですけど、去年は現金給付やったんですけど、今回は定期代といったところで、そういう意味では一部評価しておりますけど、ぜひともこれ、進めていかないかんことなんで。それと、おっしゃったように、ほかの高校生もバックアップしてやってください。

**○馬場企画課長** 定期代等につきましては、他の市町もやっていないうち独自の事業でございますので、緑陽高校に通っていただけるインセンティブともなるとも考えておりますので、継続に向けて検討していきたいと思っております。それから、様々な、奇抜などはいりませんが、市としてできる事業、それから提案できることがあればどんどんと高校にも提案していきたいなとも考えておりますし、もしも委員からこういうのもいいんじゃないかみたいな、先ほどのような御意見がありましたら教えていただければ高校とも話をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

**○森本委員長** 次行っていいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

6ページをお願いします。

第4表地方債補正について。

○中西委員 市道建設のところで使う過疎債だったと思うんですが、市道の工事について、今月に工事発注がされて、今月末ぐらいに入札があるのかな。なぜこの期に及んでという感じがするんですけども、もう入札は終わっているのかな、そのくらいだと思うんですけども、なぜこんな時期に過疎債になったんですか。

○榮財政課長 対象が市道浦伊部線とお聞きしております。当初財源の組立ての中でまだ過疎債の充当ができる枠があったんですけども、そちらに一般財源を充当されていたということが判明いたしましたので、ここで財源を更正をいたしまして、有利である過疎債を幾らか、より多く借入れをしようということで、こういった補正の財源更正をお願いしたというものでございます。

○中西委員 なかなか僕は際どかったと思うですよ。もう業者の選定に、12月の末ですよ、入札がね。もしこの議会に間に合ってなかったら、この道路の建設が前へ行かなかったという、そんなことはないとは思いますが、物すごい急な話で私もこれは驚いたんですけど。

○立川委員 限度額、5億4,050万円と、今回の補正なんですが、これを発行したとして、トータル残高は幾らになりました。

○榮財政課長 過疎債の残高の資料を今持ち合わせてございませんので、後日でもよろしいでしょうか。

○立川委員 結構です。

それともう一点、起債の方法の欄なんですけど、いつも普通貸借または証券発行という文言が踊っているんですけど、これは実際に金銭の消費貸借契約なのか、金銭消費貸借証書の貸付けになるのか、それとも証券発行のボンド発行になるのか、その辺は、教えていただけたらありがたいんですけど。

○榮財政課長 証券発行と理解しております。

○立川委員 債券、証券発行されるんですね。

○榮財政課長 はい。貸し借りの契約につきまして、証書を発行していただいております。

○立川委員 じゃあ、ボンドじゃなくて金銭消費貸借証書の貸付けですね。分かりました。

○森本委員長 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で議案第108号中の総務部分の審査を終わります。

\*\*\*\*\* 議案第122号の審査（総務） \*\*\*\*\*

次に、議案第122号令和5年度備前市一般会計補正予算（第12号）について、総務部部分の審査を行います。

議案書の10ページをお開きください。

ここは、歳入歳出一括で質疑を行いたいと思いますので、希望のある方はどうぞ。歳入歳出一括で行います。

○中西委員 10ページの繰入金のまちづくり振興基金繰入金、減の理由についてお聞かせくだ

さい。

○**榮財政課長** 教育総務課から補助基本額が4,400万円とお聞きをしております。それに基づきまして、3分の1の国庫補助金がいただけるということで、その補助の対象部分になるところを今回まちづくり振興基金繰入金の財源を外しております。

○**中西委員** 総務のどこで使う、何に充当するものだったんですか。

○**榮財政課長** 当初、5号補正でお願いしておりました事業費が7,478万円ございました。その財源として、全てをまちづくり振興基金繰入金といたしておりました。このたび4,400万円を国庫の基本額というところに回しましたので、残る3,078万円がまちづくり振興基金繰入金の財源で残ったままとなります。

○**森本委員長** ほかにありませんか。歳入歳出、質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に移らせていただきます。

5ページをお開きください。

第3表地方債補正について、質疑を希望される方。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、以上で議案第122号中、総務部部分の審査を終わります。

採決に入る前に暫時休憩いたします。

**午後3時31分 休憩**

**午後3時44分 再開**

○**森本委員長** 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

議案第108号に対し、立川委員と中西委員からそれぞれ修正案が提出されております。

修正案提出者の説明を求めます。

まずは、立川委員からの説明を願います。

○**立川委員** 議案第108号令和5年度備前市一般会計補正予算（第11号）、修正案を出させていただきます。

主なものとして、第1条第1項中、3億107万3,000円を2億8,789万3,000円に、249億4,585万8,000円を249億3,267万8,000円に修正をさせていただきます。表は、そのとおりでございます。

内容としまして、第3条第3表中、備前市合併20周年記念「第九」演奏実行委員会補助金、備前焼海外巡回展示事業補助金を削除する案でございます。

理由といたしましては、備前市合併記念の「第九」の演奏会については、市民参加型とかいろいろもう少し計画を練っていただいて、再度上げていただけたらという思いで削除させていただきたいと思います。備前焼の海外巡回展示事業補助金の分ですが、これは、グランドデザインとか、どこまで行くのかも分からない。今回の事業についても、ちょっといかがなものかなと

ということで、一度立ち止まってお考えいただきたいという思いで削除させていただきたいと思  
います。

○森本委員長 立川委員の説明が終わりました。

これより修正案の提出者に対する質疑を行います。

質疑のある方。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑を打ち切りまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、修正案の提出者に対する質疑を終了いたします。

次に、中西委員からの説明をお願いします。

○中西委員 先ほど立川委員が御説明をされましたけども、それに付け加えて、5ページの第3  
表の債務負担行為補正、備前緑陽高校サポート事業を削減する、修正するものであります。

○森本委員長 中西委員の説明が終わりました。

これより修正案の提出者に対する質疑を行います。

質疑ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑を打ち切りまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、修正案の提出者に対する質疑を終了いたします。

以上で議案第108号に対する全ての質疑を終了いたします。

\*\*\*\*\* 議案第108号の採決 \*\*\*\*\*

これより議案第108号を採決いたします。

なお、採決の順序について申し上げます。

本案については、中西委員、立川委員から提出された修正案には共通の部分がありますので、  
初めに中西委員提出の修正案のうち立川委員提出の修正案と共通する部分を除く部分について採  
決を行います。

次に、両修正案の共通部分について採決し、最後に修正部分を除く原案について採決をいたし  
ますので、よろしく願い申し上げます。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それではまず、中西委員提出の修正案のうち立川委員提出の修正案と共通する部分を除く部分  
について採決を行います。

中西委員提出の修正案のうち立川委員提出の修正案と共通する部分を除く部分について、賛成  
の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手少数であります。よって、中西委員提出の修正案のうち立川委員提出の修正案と共通する部分を除く部分は否決されました。

次に、立川委員の修正案について採決いたします。

立川委員提出の修正案について賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手少数であります。よって、立川委員提出の修正案は否決されました。

修正案が否決されましたので、原案について採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数であります。よって、原案は可決されました。

続いて、少数意見の留保を希望される方の発言を許可いたします。

○中西委員 備前緑陽高校サポート事業については、市内の進学者に対する共通の補助とすべきだと思います。そして、効果が非常に疑わしいという点。それから、3番目に緑陽高校の存続の問題については、また違った次元で検討する必要があるのではないかと考えます。

備前市合併20周年記念「第九」演奏会実行委員会補助金については、全体の企画が十分練られてない問題。それから、2点目は12月22日に行うということの疑問が残ります。3番目に、実行委員会が形骸化した中で行われるのはどうなのか。もっと広く市民の中で議論をすべきではないかと思えます。

備前市海外巡回展示事業補助金については、1つは、やはり備前焼の当事者が中心となって検討を深くしていく必要があるのではないかと思えます。2番目に、6,000万円もの費用をかけての費用対効果はどのようなものなのか、いまだ疑問が残るところであります。

○森本委員長 ただいまの意見に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

所定の賛成者がありますので、中西委員提案の少数意見は留保されました。

ほか留保される方いらっしゃいませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、中西委員は、少数意見報告書を作成の上、本日中に委員長まで提出を願います。

附帯決議はないですね。

\*\*\*\*\* 議案第122号の採決 \*\*\*\*\*

それでは次に、議案第122号を採決いたします。

本案は原案のとおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第122号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第122号の審査を終了いたします。

それでは、これもちまして予算決算審査委員会を閉会いたします。

皆様、ありがとうございました。

午後3時53分 閉会